

海のすべての同盟者たち

海との絆、そして互いの絆を深める

2023 | 環境・ソーシャル・ガバナンス報告書



目次

01: はじめに 1

社長メッセージ	1
今年を振り返る	2
UN（国連）持続可能な開発目標	3
Trident Seafoodsについて	4
ESGに対する私たちのアプローチ	10
当社の利害関係者モデル	11

02: 環境 13

私たちの漁業手法	15
私たちの取り組み	20
私たちの配送	23
私たちのコラボレーション方法	25

03: ソーシャル 27

私たちのコミュニティ	29
私たちのお客様と消費者	33
私たちとともに働く漁業者の皆さん	35
私たちの従業員	38

04: ガバナンス 47

私たちのリーダーシップ	49
倫理とコンプライアンス	50
食品安全および品質保証	53
リスクマネジメント	54

05: 付録 56

当社のESGへの取り組みと行動	57
-----------------	----



この報告書について

当社初となるこの報告書は、当社の事業が人、環境、または経済への影響に影響を与える独自の立場にある問題に関するenvironmental, social and governance（環境、ソーシャル、ガバナンス）戦略およびパフォーマンスをお知らせするものです。

この報告書の情報は、特に明記されていない限り、当社のポリシー、プログラム、および目標を説明し、2022暦年のパフォーマンスデータを含みます。ドルへの言及はすべて、特に明記されていない限り、米ドルを指します。この報告書の情報は、最初の発行日現在のものです。



社長メッセージ

Tridentの初めてのESGレポートへようこそ。

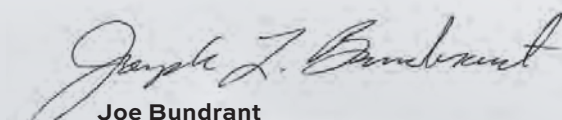
私たちは長い間、地球と人々に良い方法でビジネスを行うことにコミットしてきました。しかし、これらのコミットメントを果たすために私たちがとる行動が一つの包括的文書にまとめられたのはこれが初めてです。このすべてをまとめて見たとき、私たちが成し遂げてきたすべてのことを誇りに思います。

私たちが創業50周年を祝うこの時期に、このレポートが出版されるのはふさわしいことに思えます。私の父、Chuck Bundrant (チャック・バンドラント)が、一才能ある人々、永続的な関係、そして船から食卓までの高品質のシーフードを組み合わせるというビジョンを持って会社を設立したことを振り返ると、彼のビジョンは今日でも当社の精神に反映されています。私たちが達成するすべてのことは、当社のために漁業を行うことを選択した漁業者の皆さん、私たちの従業員、私たちと一緒に働く顧客とサプライヤー、そして私たちが住み、働くコミュニティとのコラボレーションと友情から来ています。私たちすべては海の同盟者たちであり、海の回復力と豊かさを促進し、お互いの絆を強化するために協力しています。私は彼らのサポートに感謝し、次の50年間に共に働くことを楽しみにしています。

共通の目標に向かって協力するというこの精神により、私たちが直面する課題がどのようなものであったとしても、私はこれから起こることについて楽観的な見方をしています。気候変動は海水温と海洋生態系に劇的な影響を及ぼしており、豊かで健康なこの海に依存して生計を立てているすべての人にとって直接的な懸念事項です。一部の施設は老朽化しており、当社が事業を展開するアラスカのコミュニティへの長年のコミットメントを維持しながら、世界のシーフード市場で競争力を維持するために、多額の再投資を必要としています。私たちは、科学技術の進歩、施設への新たな投資、プロセスと慣行の改善など、今後数年間で運営方法に大きな変化をもたらすことを目指しています。決して変わらないのは、誠実にビジネスを行い、敬意と優しさを持って人々を扱うことへの私たちの献身です。これらの価値観は、私たちの中に根付いているものです。

私はESGの成果をとて誇りに思っており、私たちが未来に向けて描いている皆がひとつになる道筋をさらに誇りに思っています。すべての利害関係者のおかげで、私たちには本当に明るい未来があります。

Tridentファミリーの一員になってくださり、ありがとうございます。


Joe Bundrant
最高経営責任者、Trident Seafoods

今年を振り返る



水産研究とギア改善のための社内チームを作成しました

500,000USD以上を緊急の漁業管理ニーズに関する研究を行うさまざまな研究財団や学術機関に対して寄付しています

Tridentの米国全事業（エネルギー、水、固形廃棄物）の環境への影響を追跡するためのベースラインを確立しました



製造、水、エネルギー効率を最大化するため、業界トップのテクノロジーを使用して新しく最先端の加工施設の計画を設計および開始しました



2021年と比較して、コンテナあたりの平均出荷重量を439ポンド増加させ、製品の出荷に使用するコンテナ数を1,766個削減しました

当社のパッケージの94%以上をリサイクル可能またはリサイクル対応にすると決定しました



Tridentの50周年を記念して有給社員のボランティア制度を立ち上げました



新しく作成されたTrident 熟練職業トレーニングプログラムで最初の4人の実習生にサポートしました

イノベーションを推進して従業員を製品イノベーションプロセスに参加させるための新しいポートフォリオおよびプログラム管理ビジネスプロセスを立ち上げました



漁師の支援を改善するために新しい船団体験グループを立ち上げました

従業員の安全に関する事故を25%削減しました

メンタルヘルスの応急処置習得のため、100人以上の従業員へトレーニングを実施しました



従業員専門知識の向上のための新しい専任チームを作成しました

企業行動規範を改定しました

UN（国連）持続可能な開発目標

Tridentは、United Nation（国連、UN）のSustainable Development Goals（持続可能な開発目標、SDG）をサポートしています。Tridentには、17の目標のうち10の目標に対する進歩に貢献するプログラムとイニシアチブがあります。

私たちは、事業と投資を通じて、また利害関係者との協力を通じて、これらのSDGsの達成を直接支援することにコミットしています。レポート全体で参照されているSDGsが表示されます。

SDG	フォーカスエリア	TRIDENTの行動	SDG	フォーカスエリア	TRIDENTの行動
1 貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	私たちのコミュニティ: 企業責任	9 産業、イノベーション、インフラ	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る	私たちの漁業手法: 生態系科学と管理を提唱し、漁業への影響を減らす 私たちの取り組み: 主要加工施設の近代化 私たちのコラボレーション方法
2 飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	私たちのコミュニティ: 企業責任 私たちのお客様と消費者	12 判断に基づいた消費と生産	持続可能な消費と生産のパターンの確保	私たちの漁業手法: 当社の操業による影響の低減 私たちの取り組み: 一次加工設備の近代化、環境マネジメントシステムの導入 私たちの配送: 梱包材による影響の低減 私たちのコラボレーション方法
3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	私たちのコミュニティ: 企業責任 私たちのお客様と消費者: 消費者教育 私たちの従業員: 従業員の健康増進 食品安全および品質保証	13 気候変動対策	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	私たちの漁業手法: 生態系科学と管理の提唱 私たちの配送: 輸送による影響の低減 私たちのコラボレーション方法
7 手ごろな価格のクリーンエネルギー	全ての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	私たちの取り組み: 一次加工設備の近代化、環境マネジメントシステムの導入	14 海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	私たちの漁業手法 私たちの取り組み 私たちのコラボレーション方法 リスクマネジメント: 水産資源リスクの管理
8 働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する	私たちのコミュニティ: 当社がもたらす経済的影響 私たちとともに働く漁業者の皆さん 私たちの従業員 倫理とコンプライアンス: 私たちの行動規範、サプライヤーの行動規範	17 パートナリシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる	当社の利害関係者モデル 私たちのコラボレーション方法

TRIDENT SEAFOODS について

Trident Seafoodsは、50年間にわたって美味しいシーフード製品を製造している家族経営の会社です。

Trident Seafoodsは、1973年にChuck Bundrantと2人の漁業者パートナーによって設立されました。当初アラスカのタラバガニ漁業で生計を立てていた彼らの旗艦船、135フィートのビリケン号は、アラスカで最初の近代的なカニキャッチャープロセッサー（漁獲兼加工船）でした。それは、革新、品質、持続可能性に根ざした歴史の舞台を据えるものでした。

今日、Tridentは北米最大の垂直統合型水産物漁業および加工会社です。当社は年間を通じて全世界で9,000人以上の従業員を雇用し、世界中に施設とパートナーシップを有しています。重要なのは、Tridentの沿岸部での事業はすべて、独立した漁業者たちに依存しているということです。アラスカ州のケチカンからノームまで、5,400人以上の独立漁業者と乗組員の皆さんにサービスを提供できることを光栄に思います。

ワシントン州シアトルに本社を置くTridentは、引き続きアラスカにおいて商業漁業と一次加工事業に注力しています。当社はアラスカ州の14のコミュニティで16の施設を運営しており、州内、フルタイム、季節雇用者を毎年5,500人以上擁し、一貫して州内の民間雇用主のトップ5の1つとして認識されています。

過去50年間で、Tridentによって水揚げおよび処理される魚種は、タラバガニから、アラスカで水揚げされたサケ、ホワイトフィッシュ、カニのほぼすべての商業種、および西海岸沖のシログネダラを含むまでに拡大してきました。同時に、Tridentはグローバルサプライチェーンを拡大し、世界中の信頼できるシーフード生産者の成長するネットワークから調達するようになりました。

Tridentは、天然アラスカ産シーフードの製品開発におけるリーダーであり、米国、日本、ドイツ、中国、ラテンアメリカの加工施設から、50カ国以上のお客様に提供し、米国内外で持続可能なアラスカシーフードを提供することに取り組んでいます。

TRIDENT SEAFOODSの概要

9,000⁺

毎年、当社の成功に貢献している
従業員

5,400⁺

当社が家族の一員であるとする
独立した漁師と乗組員



16

アラスカを拠点
とする陸上工場とサポート業務



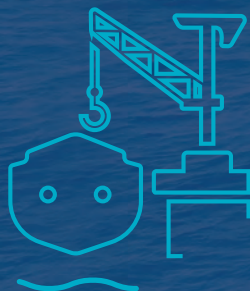
10

アメリカ合衆国本土の
加工・生産工場およびシアトル本社



18

国際的な
付加価値生産工場および営業所



2

アラスカでのサポートを
提供するワシントンの
造船所



37

収獲船、支援船、キャッチャープロセッサー船、
フローティングプロセッサー船を含む
社有船



1,350

毎年Tridentと共に働くことを選択する
独立船

私たちのビジョン、使命と価値観

当社の核となるのは、ピープルビジネスです。私たちの特徴は、お互いを気遣うということです。才能ある人々と持続的な関係を組み合わせる、というChuck Bundrantのビジョンは、当社のビジネスのやり方の中心にあり、私たちの使命と価値観に具現化されています。

私たちは人々の成功に投資しています。Tridentがあることで、人々の生活がより良いものになることを望んでいます。そして私たちは将来について楽観的な見方をしています。この50年間で培ってきた強みと能力により、将来の課題にも対処できると考えているからです。

私たちのビジョン

(私たちの存在理由)

私たちは人々の生活をより良いものにします。

私たちの使命

(私たちが達成したいこと)

私たちは、責任を持ってアラスカの天然シーフードを世界と共有するために協力しています。

私たちの価値観

(私たちの行動)

私たちはお互いを気遣います。私たちは卓越性を追求します。私たちは正しいことをします。



私たちと共に働く漁業者の皆さんへの誓い

当社と共に働く漁業者の皆さんにサービスを提供し、関係者すべてに感謝を示すことは、Trident全従業員にとって何よりも大切にすべきことです。

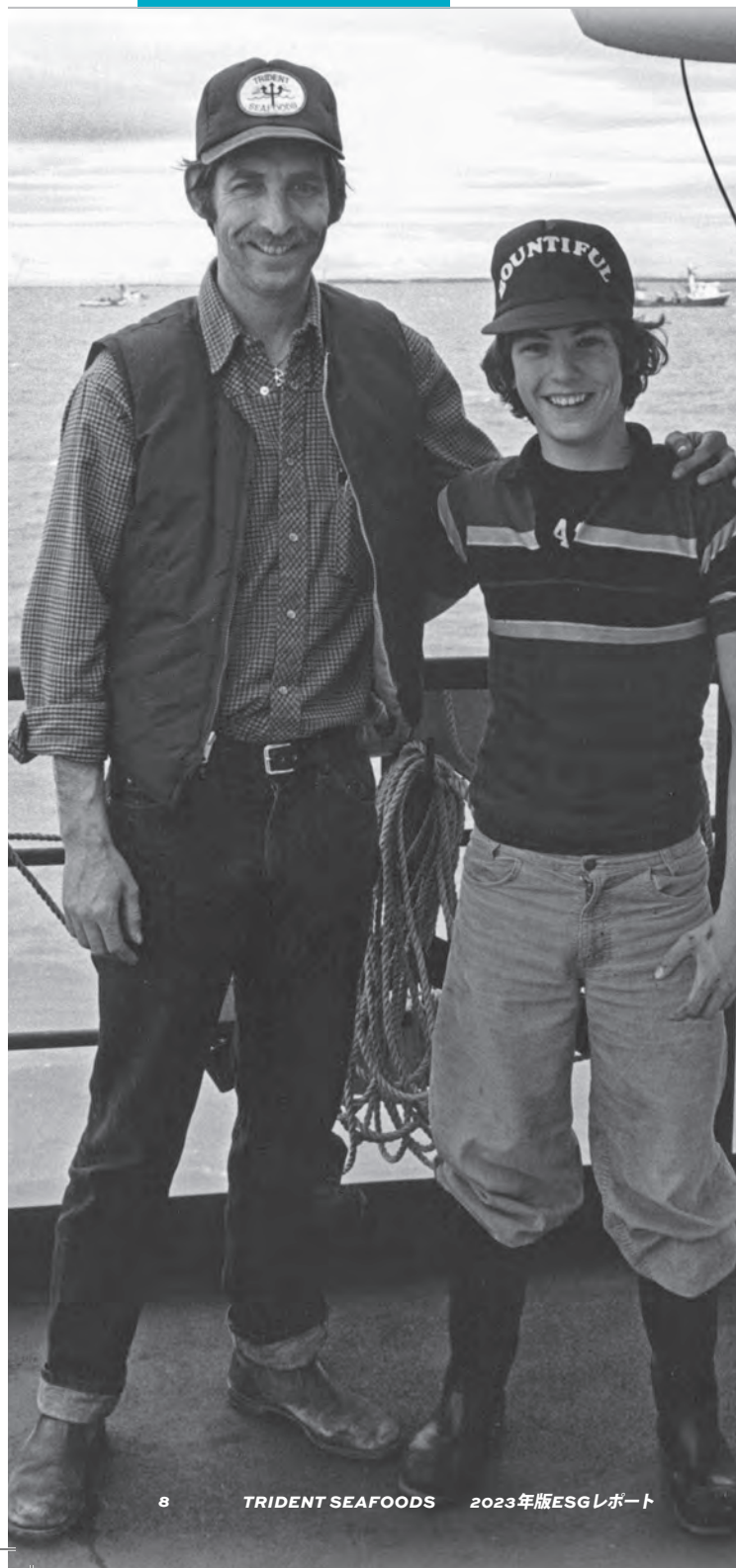
Tridentは、ジェンダーインクルーシブな言葉を使うことに鋭敏な感覚を持っています。従業員との話し合いでは、男性、女性および多様な性を持つ人々を「漁師」と呼ぶことへの強い希望が表明されました。「漁師」であることは、性別に基づく用語ではなく、職業と見なされています。

私たちの歴史

1961年、Chuck Bundrantは18ドルをポケットに入れてシアトルに到着し、アラスカに向かい、見つけれられる限りの仕事を引き受けました。彼はその国で最も危険な職業で世界である最も荒れた海での漁業を行い、ボートを修理し、エビをかき集め、カニ漁船の甲板に乗り込んで働きました。

10年余り後、チャックはビリケン号—漁獲されたカニを同じ船上で加工できるアメリカ初の洋上カニ船—と共に「Trident Seafoods」を設立しました。ビリケン号は、Tridentの将来の成功と革新の文化の基礎を築きました。

チャックの気概、決意、そして海への愛情は、彼を漁業におけるパイオニアにしました。50年後の今も、彼の遺志は、アラスカの天然シーフードを責任を持って世界と共有するために協力するというTridentの使命へと続いています。



アラスカの天然シーフードを世界と共有する



Trident加工工場、research and development (研究開発, R&D)、営業所は、50カ国以上の顧客にサービスを提供しています。



ESGに対する私たちのアプローチ

Tridentは、ビジネスの成功が持続可能な事業運営と成長の能力とつながっていることを理解しています。北米最大の垂直統合型水産物漁獲・加工会社として、私たちは環境にやさしく、人々にやさしい方法で事業を行い、すべての人にとって持続可能な未来を確保するという重要な責任があることを認識しています。ESGに対する私たちのアプローチは、これらの責任に対する説明責任を果たすものです。このアプローチは、このレポート全体に反映されています。



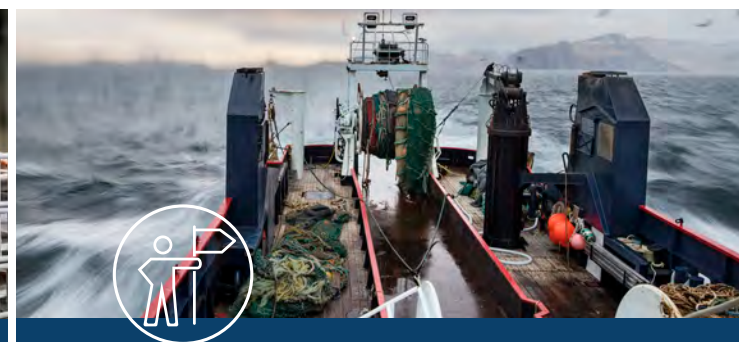
環境

- 科学的根拠に基づく資源管理のサポート
- オペレーショナルエクセレンスの開発
- サプライチェーンの最適化
- 革新的な政策とのコラボレーション



ソーシャル

- コミュニティへの支援
- お客様と消費者とのエンゲージメント
- 独立漁業者への支援
- 従業員を大切にする



ガバナンス

- 戦略的リーダーシップ
- 倫理基準の遵守と法律の遵守
- 安全で高品質な食品の提供
- 責任あるリスク管理

**「私たちにとって、持続可能性はバッジや認証以上のものです。
それは未来への投資です。」**

—
Joe Bundrant
最高経営責任者、Trident Seafoods

当社の利害関係者モデル



当社の創設者であるChuck Bundrantは、「すべての利害関係者が成功しなければ、どんな利害関係者も長期的に成功することはできない」と考えていました。このことは、私たちの事業運営の中核に信念として変わることなく存在しています。私たちは、すべての利害関係者に価値を創造する責任を負っています。それは、正しいことだからというだけでなく、私たちが集団として成功したときにそれぞれがより良くなることができるからです。

環境の持続可能性

私たちはスチュワードシップの役割を真剣に受け止めています。私たちは、責任を持って管理された漁業に参加することを選択しており、海洋生態系への影響を最小限に抑えるためにさらにその上を行き、クラス最高の environmental management system (環境管理システム, EMS) を使用して目標への進捗状況を管理します。

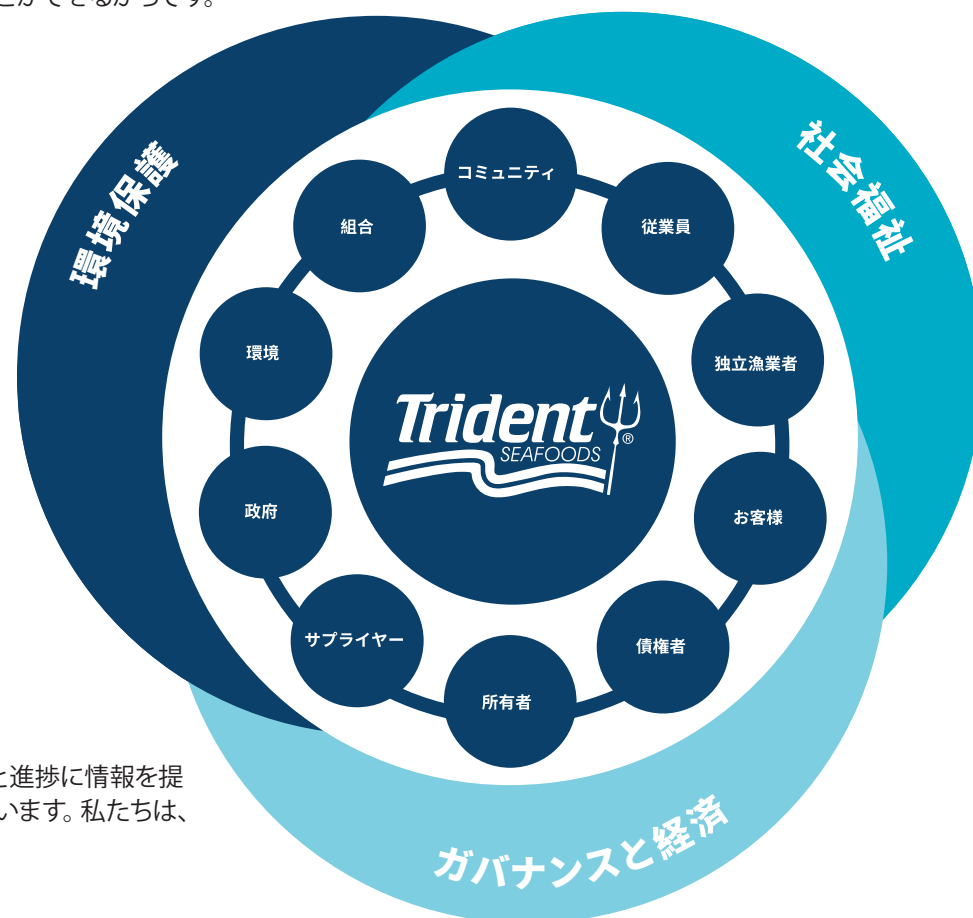
社会的持続可能性

私たちに、より良い世界を創造する責任があります。安全で健康的な職場を維持し、心身の健康に努め、地域社会の長期的な発展を支援し、船から食卓まで栄養価の高い水産食品をお客様にお届けします。

ガバナンスと経済的持続可能性

私たちは、倫理的な方法でビジネスを行う責任を負うことにより、持続可能な企業を確保します。私たちは良い仕事を提供し、従業員とパートナーを公正に扱い、長期的な収益性に焦点を当てることで、すべての利害関係者に再投資と価値創造の機会を提供します。

私たちのモデルは、利害関係者のニーズを認識してこれに対処し、ESGの優先事項と進捗に情報を提供する貴重な洞察を提供します。また、そのことは当社の長期的な成功にも貢献しています。私たちは、年間を通じてさまざまな方法で主要な利害関係者と定期的に関わります。



エンゲージメントの方法

利害関係者	戦略プレゼンテーション	取締役会またはアソシエイトメンバーシップ	オンラインコンサルティング	対面による会議	カンファレンス	現地視察	トレーニング	イベント	ウェブサイト、イントラネット、ソーシャルメディア	各種調査	企業責任キャンペーン
Trident取締役会	●	●	●	●		●	●	●	●	●	
Tridentエグゼクティブリーダーシップ	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●
Trident経営陣	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
Tridentグローバル従業員	●		●	●		●	●	●	●	●	●
漁業者			●	●		●	●	●	●	●	●
お客様	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
消費者							●	●	●	●	
サプライヤー	●		●	●	●	●	●	●	●	●	
コミュニティリーダー		●	●	●	●	●		●	●		●
非営利団体/NGO/財団		●	●	●	●	●		●	●		●
業界団体		●	●	●	●	●	●	●	●		
政策立案者/規制当局	●		●	●	●	●		●	●		
研究・学術パートナー		●	●	●	●						

環境



環境

海の同盟者として、私たちは回復力を促進し、次の世代のために豊かさを確保するために資源を管理しています。

海は私たちの活動の中心であるため、私たちは長い間、ビジネス、お客様、コミュニティを維持する海洋資源の保護に専念してきました。私たちは、連邦および州の漁業管理法の実施に関与するパートナーや利害関係者と協力して、北太平洋および太平洋の海洋生態系の管理に、利用可能な最良の科学が確実に活用されるようにします。

私たちは、今シーズンと来シーズンだけでなく、将来の世代に豊かさを保証する方法でこれらの資源を法律の規定を超えて世話し、保全し、管理します。環境資源と影響を管理するための当社の指針は次のとおりです。

科学的根拠に基づく資源管理

私たちは、[マグナソーンスティーブンス魚類保全・管理法](#)と[アラスカ州の持続可能なサーモン政策](#)で確立された目的とプロセスを使用して、利用可能な最良の科学に基づく漁業と管理活動を行います。

オペレーショナルエクセレンス

私たちは、船舶および施設で世界クラスの性能を確立および維持し、可能な限り廃棄物と環境への影響を最小限に抑えることを目指しています。

サプライチェーンの最適化

私たちは、サプライチェーン全体で環境への影響を最小限に抑え、パートナーやベンダーと協力して廃棄物を削減し、効率を最大化することを目指しています。

革新的かつ協働的なポリシー

私たちは、業界、政府、非営利団体が協力して、米国が世界で最も持続可能な方法で管理された漁業を維持し、気候変動に対する実用的かつ効果的な解決策を推進し、世界の水産物サプライチェーンのリスクを軽減することを確実にします。



私たちの漁業手法

私たちは、責任ある漁獲を促進し、尊重し、改善します。

海水温の上昇やその他の気候関連の変化が海洋生態系に変化をもたらしていることは否定できません。最も顕著で懸念される影響の中には、チヌークサーモン、アラスカ西部のシロザケとギンザケ、ベーリング海のタラバガニとズワイガニなどの象徴的かつ文化的に重要な種の減少や壊滅があります。

これらの課題の緊急性と規模により、全体としての行動、科学的根拠に基づく管理手法へのコミットメント、および効率性を高め、私たち自身の漁業の影響を減らす技術と慣行への投資が必要となっています。

科学的根拠に基づく漁獲管理の支援

Tridentは、水産資源の長期的な持続可能性に多額の投資を行い、かつそれに大きく依存しています。私たちは、アラスカと北太平洋の漁業管理プロセスにおいて、保全、透明性、科学に基づく管理への長期的な献身が何十年にもわたって健全で持続可能な漁業を維持してきた利害関係者であることを誇りに思っています。

私たちは、漁業者やその他の利害関係者が意見を提供する機会や、連邦漁業管理の影響を受けるすべての人に対する公平な機会を含む、透明かつ科学主導の管理プロセスを積極的にサポートし、擁護します。私たちは、科学と管理への全面的な資金提供と強力なピアレビュー、および公開プロセスを提唱することを最優先事項としています。また、政府機関がコア機能/ミッションクリティカルとして維持しているものを超える生態系研究にも資金を提供しています。



科学的根拠に基づく漁獲管理の実践

2013年後半、科学者たちはアラスカ湾と太平洋の他の地域で、「プロブ」と呼ばれる異常な海洋熱波である大量の温水の塊を検出しました。この熱波は数年にわたって持続し、広がり続け、海洋生物に重大な悪影響を及ぼしました。特に、湾岸の太平洋のマダラ資源は80%減少しました。¹ 連邦科学委員会は、資源が主要なバイオマスレベルを超えて回復するまで、湾岸でのすべての太平洋マダラ漁業を停止することを推奨し、漁業管理者たちは迅速に行動を起こしました。

この決定は、マダラに依存する漁業者、加工業者、コミュニティに大きな影響を与え、湾岸にあるTridentの2つの施設で数千万の収益が失われましたが、私たちは他の利害関係者同様にこの停止を強く支持しました。私たちは、短期的な経済的悪影響は資源の長期的な持続可能性にとって価値があると考えていたからです。

今では、この漁業は再開されています。太平洋のマダラ資源は、健全な管理と利害関係者からの支援により、毎年ゆっくりと資源量を増やしています。

1 2017年 アメリカ海洋大気庁（NOAA）の半年ごとのアラスカ湾底引き網調査による。



全漁獲量算定、監視、および執行措置の遵守

漁獲量の算定、監視、および執行の方法は漁業によって異なりますが（海上滞在時間、漁獲量、漁獲物の種類などに基づく）、北太平洋と太平洋のすべての漁業は、世界および業界をリードする説明責任と執行措置の下で管理されています。これらには以下が含まれます。

- 船舶、漁獲場所、時間データ、魚種を含む漁獲量算定システム、および漁獲装置に正しいライセンスおよび/または許可があることの検証
- 生物学的、算定・監視上の両方の目的を果たすことができる甲板上および工場内の独立したオブザーバー
- 人間による監視を補強する、または冗長性を持たせる電子的監視
- 違反に対して意味のある罰則を執行するための海上および陸上での積極的な法執行機関の存在

これらの説明責任措置と根底にある漁獲管理の実践を通じ、北太平洋と太平洋の漁業は世界で最もよく管理された漁業の一つとなってきました。

Tridentは、これらの協働的で透明性のある科学主導の漁業管理の実践に引き続き全力で取り組んでいます。私たちは、それらを維持および改善するために必要な科学的データと分析能力を今後も擁護し続けます。私たちは、海洋状況の変化が北太平洋の海洋生物にさらなる圧力がかかる中、これらのニーズは拡大し続けると考えています。

漁獲量監視におけるグローバルなベストプラクティス
ベーリング海のスケトウダラ船ではすべて、独立した人間の監視員または電子カメラプログラムによって監視されています。

生態系科学とマネジメントの擁護

太平洋マダラ資源に対する海水温の変化の劇的な影響は、海洋生態系に対する気候関連の変化の広範かつ多くの場合予測不可能な影響の一例にすぎません。

これに対応して、私たちは、海洋生態系への気候影響の科学的評価の進歩と、これらの変化の影響を最も受けているコミュニティの認識を擁護しています。これには、何十年にもわたって持続可能な漁業管理の要であった、より堅牢な州および連邦のデータ収集システムと科学的分析のための資金の増加を求めることが含まれます。

私たちは、さまざまな研究財団や学術機関を通じて、差し迫った漁業管理のニーズに関する研究に資金を提供するために、年間数十万ドルを寄付しています。これには、科学的理解の向上と混獲の削減に関連する研究を推進する2つの共同研究基盤である、ベーリング海漁業研究財団とスケトウダラ保全協力研究センターに資金を提供することが含まれています。さらにTridentは、現在、スケトウダラ漁船団全体の網の設計をカタログ化し、それらの影響と底部接触率を測定し、底部接触率と未観察死亡率をさらに最小限に抑える新設計を研究するため、複数年にわたる研究に取り組んでいる応用研究センターである アラスカパシフィック大学の水産・水生科学・テクノロジー (FAST) 研究所に毎年多額の寄付を行っています。

私たちは、可能であればいつでも、科学者に貴重な直接的情報の提供を行っています。例えば、Tridentと共に働く漁船の船長たちは、魚と海の状態に関する観察結果を、船内の連邦オブザーバー、資源評価の作成担当者、底魚計画チームのメンバー、科学統計委員会のメンバーに伝えています。



Tridentは毎年、
500,000
ドル以上を

差し迫った漁業管理ニーズに関する研究を行うさまざまな研究財団や学術機関に対して寄付行っています。



99% 認証済み

Tridentの水産物のほとんどすべては、世界水産物持続可能性イニシアチブのベンチマーク保証プログラムの下で独自に認証済みの漁業から水揚げされたものです。

漁業の環境への影響の低減

Tridentは、漁業の環境への影響を減らすための改善と新しいソリューションの作成に取り組んでいます。私たちの取り組みには以下が含まれます。

持続可能な漁業手法

私たちは、生息地と混獲の影響を最小限に抑え、指示された漁獲量の利用と質を高め、アラスカの漁業基準を世界的に維持することを可能できるように、研究、漁具の革新、および漁業手法の変更に積極的に取り組んでいます。

また、より持続可能で効率的な漁法と船舶設計の研究、開発、実装を行っており、こうした取り組みがTridentを業界のリーダーにし、業界全体に利益をもたらしてきました。

フリート管理

私たちは、環境リスクを最小限に抑える方法でフリート（漁船団）を管理することにコミットしています。たとえば、ベーリング海のスケトウダラ船はすべて、すべての漁船からのリアルタイムの漁獲データを提供する共同管理プログラムに参加しており、船長が目標外の漁獲を回避し、新鮮な魚の工場までの輸送を最適化するのに役立ちます。

持続可能な調達

北太平洋全域にわたる当社の中核的漁業は、科学的根拠に基づく意思決定、予防的管理、厳格な監視・取締り、世界レベルの研究管理プログラムを支援する漁業者や加工業者、その他利害関係者の協力など、実証済みの持続可能性の柱に基づき管理されています。私たちは責任ある管理を実践している漁業者からのみ調達を行っています。



私たちは魚 のあらゆる部分を 使用することを目指しています

切り身とすり身
高品質のシーフード製品
の重要な要素

魚卵、白子、胃
価値の高い高級食材

油
高レベルのEPAおよび
DHAオメガ3脂肪酸

骨
汚染土壌からの重金属
や放射性廃棄物の除去

魚粉
最高品質の水産養
殖飼料に使用

利用率の向上

資源の利用率を改善することは、操業の影響を最小限に抑えるために実行できる最も重要なステップの1つであると考えています。利用率の向上は、無駄を減らし、同じ数の魚からより多くのものを生み出すことを意味します。

過去20年間で、Tridentは利用率を高め、資源の廃棄をほぼゼロにしてきました。また、廃棄物の流れからできるだけ多くのタンパク質を捕捉するよう努めており、魚粉と油の技術に多額の投資を行ってきました。

私たちの生産は科学的根拠に基づく漁獲制限によって常に制約されます。私たちは、一定の量でより多くのことを行うこと—私たちが行うすべてのことを推進する保全の価値—が、資源の賢明な使用であると考えています。

ほぼゼロの資源廃棄

過去20年間、Tridentは魚のあらゆる部分を使用する努力を通じて、ほぼゼロの資源廃棄の達成に向けて大きな進歩を遂げてきました。

自社研究による進化

Tridentの歴史は革新に根ざしています。進取の気性に基づき、私たちは2022年に社内の水産研究改善チームを設立しました。このチームは、私たち自身の船舶と施設を使用して漁具の研究開発を実施し、混獲と底生帯（または海底）への影響を最小限に抑えるためのソリューションについての実験を行っています。このチームには、Tridentのビジネスモデルのあらゆる側面を評価し、ピアレビューされた科学を使用して、今後の課題に対するソリューションを開発することが期待されています。

私たちの取り組み

私たちは、操業の影響と廃棄物を測定、管理、および低減します。

私たちは、水産物の処理方法と事業の管理方法に高い基準を設定し、資源の賢明な使用に責任を持ちます。私たちは、事業の影響を低減し、すべての活動において効率性を高めるために、継続的な進歩を遂げることに取り組んでいます。

主要加工施設の近代化

Tridentは、アラスカの最も人里離れた、最も環境の厳しい中で、大規模な加工施設を運営しています。一部の施設の老朽化に伴い、最大生産量に対応する新しい最先端の加工施設に再投資しています。

この再投資の規模、複雑さ、および結果は戦略的に重要なものです。これは、世界の水産物市場における当社の長期的な未来を定義し、世界の水産物市場での競争力を維持し、当社が事業を展開するアラスカのコミュニティへの長年のコミットメントを維持するのに役立つでしょう。

さらに、新施設の設計に含まれる革新的な技術により、以下のような環境と経済のパフォーマンスを変革することができます

- 食事と蒸気発生のあるあらゆる機会に熱回収を増やし、排出量削減と生産性向上を図る
- よりエネルギー効率の高い居住空間
- 廃水処理スプレーバーに使用される冷凍凝縮水などの非接触廃水の再利用
- 発生および排出される廃棄物を最小限に抑えるための最先端のタンパク質副産物回収
- 水産加工廃水排出の希釈と分散の改善



従業員の創意工夫による影響の低減

当社の新しい最先端の施設は、持続可能な加工において当社を次のレベルに前進させることを約束すると同時に、環境への影響を減らし、経済効率を向上させる能力において同様に重要な他の加工工場での小規模な近代化投資を引き続き追求します。

たとえば、ワシントン州アナコーテスの工場での従業員主導の取り組みは、加工廃棄物とエネルギー使用量の大幅な削減にすでにつながっています。アナコーテスは、エネルギー追跡ソフトウェアを使用してエネルギー使用量を監視した最初のTrident工場の1つでした。過去10年間にわたり、アナコーテスは外部の専門家と提携してエネルギー指標を分析し、エネルギー消費を削減できる主要分野を特定してきました。

従業員たちはまた、廃水処理システムを開発し、システムから除去された固形物を埋め立て地に持ち込むのではなく、陸上で活用できるようにしました。生産に使用できない乾燥原料は飼料としてリサイクルされます。機械の冷却に使用される水はリサイクルされ、衛生に使用される水の予熱に使用されます。さらに、工場には排出臭を除去するための最先端の大気排出制御装置が設置され、現在は廃水および冷凍制御システムの効率を改善するための追加の特殊処理を評価を行っているところです。

環境マネジメントシステムの導入

事業全体にわたる環境パフォーマンスを改善・体系化するため、当社は2005年に米国環境保護庁が公表したコンプライアンス重視のEMSフレームワークに基づくEMSの実装を進めています。EMSの実装は、2023年末までに完了する予定です。

EMS実装プロセスの一環として、2020年1月に新たなグローバル環境方針とEMSマニュアルを発行しました。このポリシーは、リソースを提供し、環境および公衆衛生の責任に関連するパフォーマンスを継続的に改善するというTridentのコミットメントを示すものです。EMSマニュアルでは、Tridentがマネジメントシステムの各側面をカバーする一連の12の手順でコミットメントをどのように満たすかが概説されています。

2020年以来、このEMSはTridentにいくつかの重要な成果をもたらしてきました。

全社的な期待値の設定

- 環境パフォーマンスに関して各組織レベルが負う責任について、経営幹部および運営リーダーと正式に合意しました。
- 各施設の環境規制義務を日常業務のリストに絞り込み、各タスクに職務を割り当て、ガイダンス文書を作成して、同様の要件を共有する場所とスタッフ間で一貫性を確立しました。このドキュメントは、管理者が人員配置を計画し、オンサイトの環境スタッフをトレーニングし、施設レベルの責任に対する期待が満たされていることを確認するために利用できます。

組織間のコミュニケーションの改善

- 施設レベルの環境スタッフ、マネージャー、エンジニアリングスタッフ、企業の環境チーム、およびTridentのトップリーダーシップ間のコミュニケーションの頻度と形式を増やしました。これにより、環境への責任を最優先に考え、問題をより迅速に解決し、必要に応じてリソースが割り当てられ、環境への配慮を事業運営上の意思決定に統合することができました。

継続的改善のマインドセットの構築

- 工場レベルおよび米国全土で定期的な環境パフォーマンスレビューを実施しました。これらの評価は、過去のパフォーマンスを調査し、将来の変化を予測し、改善の機会を特定することにより、継続的な改善のマインドセットを促進します。
- 定性的なリスク評価を全社的な運営およびビジネスレビュープロセスに統合しました。評価のスコアは、対処する必要のあるコンプライアンス違反または環境インシデントのリスクが持続的または高い領域にあることを特定する上で役立ちます。一定の基準値を超える環境プログラムには、既存のリスクを低減するための行動計画を策定し、経営陣とともに計画を承認する必要があります。私たちの目標は、すべてのリスクスコアをアクションのしきい値未満にすることです。

将来を見据えて

当社のEMSは、全社的な環境パフォーマンスを向上させるために今後も使用される強力なツールです。すでに進行中の取り組みは次のとおりです。

成功のための組織体制の整備

私たちは、環境パフォーマンスをコンプライアンスを超えて進めるために組織変更を行っています。私たちは、環境コンプライアンスチームと安全組織を、サプライチェーングループ内の単一の環境、健康、安全（EHS）組織にまとめています。この動きは、EHSのパフォーマンスを製造および運用のベストプラクティスに統合することを目的としています。

また、環境パフォーマンスの所有権を工場レベルに引き上げ、技術スタッフの採用、育成、維持の合理化も追求しています。このイニシアチブには、工場レベルでの人員配置レベルの評価、マネジメントサポートの新しい役割の設定、および技術スタッフの役割と開発経路をすべての業務で一貫性のあるものにすることが含まれます。

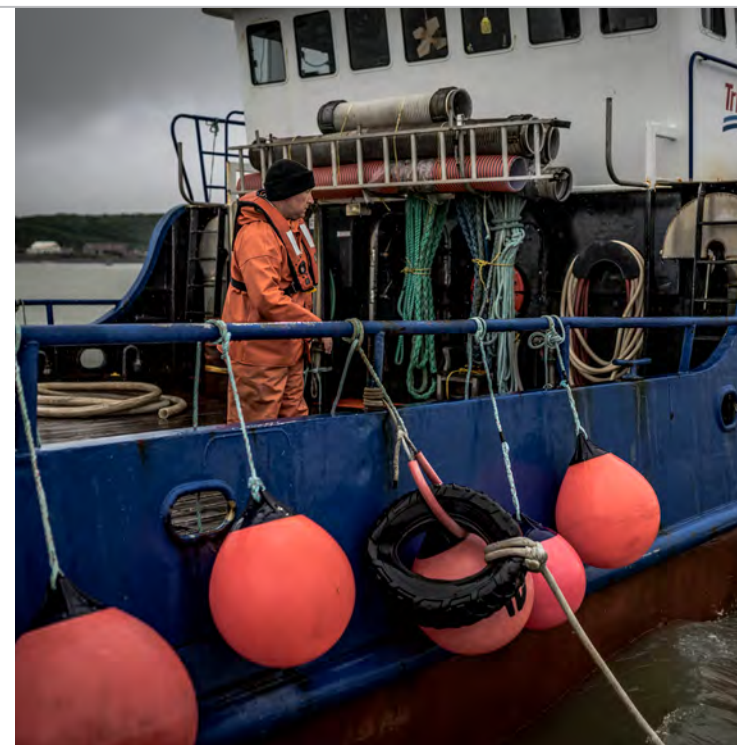
環境フットプリントのベースラインの確立

私たちは現在、Tridentの米国全事業（エネルギー、水、固形廃棄物）の影響を追跡するベースラインを確立するためのイニシアチブを進めています。2022年、私たちはCascade Energy社と協力して包括的なデータセットの収集、情報の格納、表示、および報告のためのデータベースの作成、さらに将来の導入を見越して、当社の事業周辺における自動データ収集可能な領域を特定しました。

2022年末の時点で、データ収集プロセスは完了し、米国向けに蓄積されています。2023年には、このイニシアチブの範囲を米国外の場所に拡大する予定です。このイニシアチブが完了すると、スコープ1および2 greenhouse gas（温室効果ガス、GHG）排出量やその他の環境指標を報告できるようになり、進捗状況とパフォーマンスの測定に役立つデータ駆動型のkey performance indicators（主要業績評価指標、KPI）が確立されます。

革新的で持続可能な製品の開発

何年にもわたって、以前は無駄になっていた材料から新製品を作成する多くの方法を見つけました。これらには、サーモンやスケトウダラのハンバーガー、ペットフードなど、原材料の利用率を高める方法、および魚油、魚粉、サーモンタンパク質濃縮物の二次製品回収が含まれます。今後も将来を見据え、次世代の製品開発や資源効率化技術への投資を進めていきます。



ベースラインの設定

2022年には、Tridentの米国全事業（エネルギー、水、固形廃棄物）の環境への影響を追跡するためのベースラインを確立するプロセスを開始しました。



私たちの配送

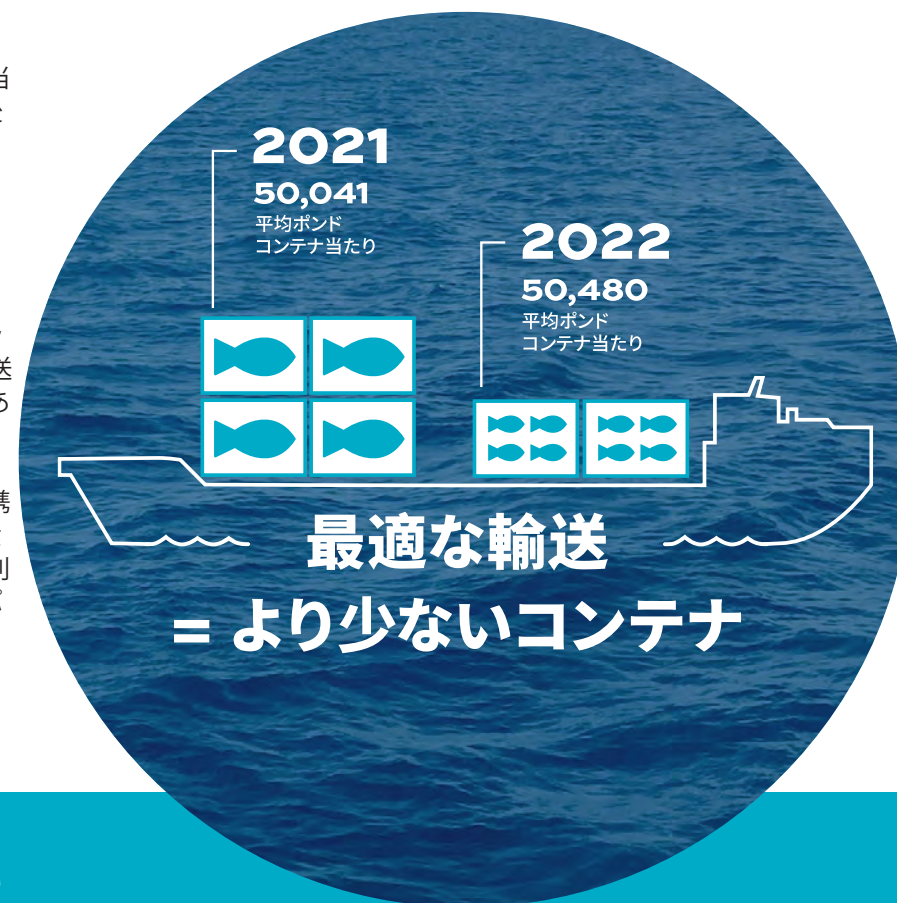
私たちは、サプライチェーンの透明性の最適化と改善に取り組んでいます。

私たちの責任は、私たちの製品が出荷された時点で終わるわけではありません。私たちは、当社製品の施設間の輸送中の影響を低減できるよう、さらに消費者が製品を家に持ち帰った後にパッケージを簡単にリサイクルできるよう、努力を重ねています。

輸送による影響の低減

当社のグローバルロジスティクスチームは、完成品をお客様や付加価値の高い生産施設に輸送する際の環境フットプリントの削減に常に取り組んでいます。私たちのアプローチは、アラスカからすべてのコンテナでできるだけ多くの製品を出荷することにより、電力とトラック輸送を必要とするコンテナの数を減らすことです。その目標に向けて、2022年だけでもコンテナあたりの平均出荷重量を439ポンド増加させました。

私たちは、当社の環境への取り組みを共有し、目標の達成を支援してくれる海運会社との提携に努めます。当社の2つの最大の配送パートナーである [Matson](#) および [Maersk](#) は、広範な環境スチュワードシッププログラムを実施し、商品を市場に輸送する際の二酸化炭素排出量を削減するために新技術への多額の投資を行っています。私たちは、これらのパートナーや他のパートナーと緊密に協力して、環境目標と方針を調整し続けます。



439 ポンド

2022年だけでも、2021年と比較して、コンテナあたりの平均出荷重量を439ポンド増加させ、製品の出荷に使用するコンテナの数を1,766個削減しました。

包装材による影響の低減

包装は、製品の品質と安全性を維持する上で重要な役割を果たします。私たちは、事業全体にわたって包装材料全体の削減、包装材のリサイクル率の増加および包装材のリサイクル性の向上を目指しています。

2025年の包装に関する目標

リデュース（低減）

- 問題のある材料を² 0%までカット
- バージンプラスチックの使用を10%削減

リユース（再利用）

- 使用済み再生プラスチックの平均含有量を25%増加

リサイクル（再生）

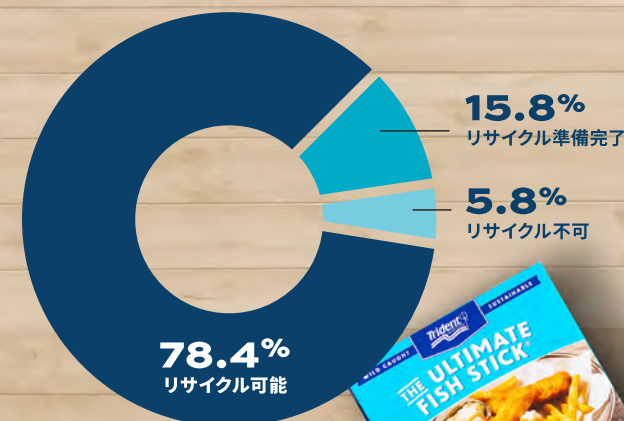
- パッケージの100%をリサイクル可能に

2022年後半、リデュース、リユース、リサイクルイニシアチブの一環として、サプライヤー別およびフォーマット別のリサイクル可能性ステータスの包装材の監査を完了し、当社のベースライン指標を確立しました。監査の結果、当社のパッケージの94%以上がリサイクル可能またはリサイクル対応であることが示され、2025年の目標を達成するための重要な一歩となりました。

- Ultimate Fish Stick®用のリサイクル対応の印刷ロールストック
- リサイクル対応真空パックフィルムで、サーモンとマダラのポーションを使った機器テスト
- サプライチェーンの効率を向上させた新しいリサイクル可能なブロックライナーにより、コンテナあたり25%増量を実現
- バルクトート形式に移行し、過剰な包装や資材の出荷を削減

² 問題のある素材については、<https://usplasticspact.org/problematic-materials/> を参照してください。

2022 包装に関する 監査結果 リサイクル可能重量合計の割合



100%再生紙使用のカートン
2021年末の時点で、再生繊維含有率100%、最低35%のポストコンシューマ再生板紙に移行しています。

私たちのコラボレーション方法

私たちは他者と協力して、気候変動被害からの回復と海洋資源の持続可能な管理を擁護しています。

健康的で持続可能なシーフードを世界に届けることは、決して個人的努力によるものではありません。当社の原則を完全に実践し、解決に向けて重要かつ体系的な進歩を遂げるために、私たちは、政府およびnongovernmental organizations (非政府組織、NGO)、非営利団体と当社の業界の他の事業体と協力しなければならないことを認識しています。

水産学・規制政策支援

私たちは、魚を捕獲してドックに運ぶ能力が、優れた科学とデータを持っていることに結びついていることを知っています。そのため、私たちは、アラスカのほぼすべての主要な商業種の資源評価のための情報の基盤を提供する、National Oceanic and Atmospheric Administration (米国海洋大気庁、NOAA) のアラスカ水産科学センターのトロール調査への完全かつ拡大された資金提供を一貫して支持し、擁護しています。また、アラスカ州魚類鳥獣部の予算ニーズへの資金提供も支持しています。さらに、持続可能な漁業管理を支援する科学を向上させる、アラスカとワシントンの学術研究プログラムを支援するために、毎年多額のリソースを投資しています。

Tridentは、規制当局や意思決定者のためのリソースとしても機能します。当社は定期的に事業に関する情報を共有し、規制当局が加工部門をよりよく理解できるように工場を見学に開放し、電子的監視規定などの新しい規制措置の形成を支援するパイロットプログラムに参加しています。



操業の透明性

Tridentは、NGO、漁業者、業界団体、規制機関、オブザーバー企業と提携して、スケトウダラ漁業での費用対効果の高いデータ収集を強化するために使用される電子的監視プログラムを設計し、試験的に実施しました。この協力とプログラムは、他の漁業における電子監視のさらなる発展を支援するために使用でき、北太平洋全体に広がる世界クラスのオブザーバープログラムの一部です。

国家政策の提言とパートナーシップ

気候変動があらゆる場所の個人、企業、コミュニティにもたらす課題に注意が向けられる中、Tridentは志を同じくするパートナーと協力して、気候変動が海洋生態系、食料生産、食料システムの安全保障に与える影響についての認識を高め、行動を調整するため、これに参加しました。

また、他の米国の水産物生産者と協力して、連邦政府の政策立案者やその他の利害関係者を、米国の水産物生産の将来についての議論や、米国の水産物セクターを強化するための既存の政策ツールの開発または使用に参加させています。米国の水産物生産の存続を脅かす可能性のあるシステム的な状況に対処するには、あらゆるレベルでの政策リーダーシップが必要であると私たちは考えています。

取締役会とアソシエイトメンバーシップ



持続可能性パートナーシップ



研究パートナーシップ

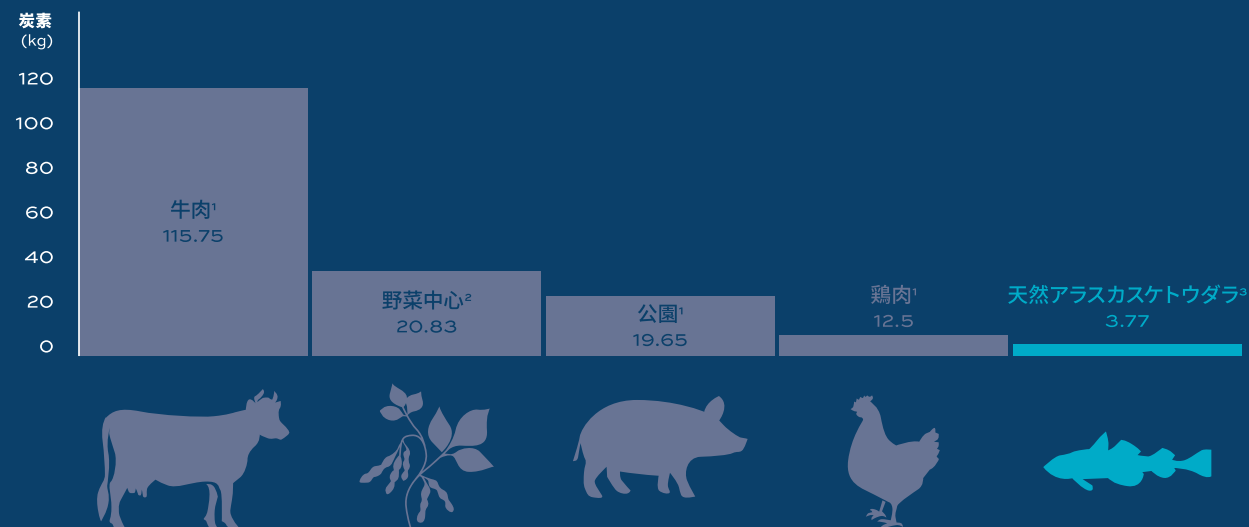


人にやさしく、地球にやさしい

食料生産はGHG排出量の約4分の1から3分の1を占めています。しかし、天然魚漁獲漁業は、炭素排出量の少ない形態の一つです。

私たちは、気候変動に強い食料システムを開発するための長期戦略の一環として、私たちは、世界の水生食料生産（「ブルーフード」と呼ばれることが多い）へのシフトを支援できると考えています。私たちのパートナーシップと政策活動の結果として、気候が天然海洋資源に与える影響のより深い科学的理解と管理の強化、そしてシーフードが豊富な食生活をもたらす健康と環境の利点についてのより広い一般の理解に貢献したいと考えています。

天然スケトウダラのカーボンインパクト 他のタンパク質との比較 (タンパク質のCO2換算量)



¹ モントレーベイ水族館/ダルハウジー大学シーフード炭素排出ツール。牛肉、鶏肉、豚肉は、タンパク質1kgあたりのCO2換算kgとして測定される、報告された範囲の中間点（7月14日現在、2021）

² Impossible Burger®と従来の牛ひき肉バーガーとの比較環境LCA、Quantis International(2019)

³ Quantis International、天然アラスカスケトウダラのライフサイクルアセスメント：ISO LCA レポート(2021)

ソーシャル



ソーシャル

**当社の核となるのは、ピープルビジネスです。
私たちの特徴は、お互いを気遣うということです。**

Tridentの成功は、従業員、独立した漁業者、私たちが協力している科学者や漁業管理者、そして私たちが漁業や仕事をしているコミュニティの成功に結びついていることを認識しています。私たちの目標は、私たちの製品を購入して消費する人々を含む人々の生活をより良くすることです。社会問題に関する私たちの指針は次のとおりです。

コミュニティへの支援

私たちは、私たちが操業し、奉仕するコミュニティの長期的な活力を大切にし、投資します。

お客様と消費者とのエンゲージメント

私たちはお客様を戦略的パートナーとして接遇し、シーフードを消費することによる健康と環境への利点、特に天然のアラスカ産シーフードについてアメリカ人を教育する取り組みをサポートしています。

独立漁業者への支援

私たちは独立漁業者たちをTridentチームの不可欠なメンバーとして接遇し、彼らの成功を確実にするためにできる限りのことをします。

従業員を大切にする

私たちはお互いを大切にし、従業員が革新し、成長し、繁栄することを奨励します。



私たちのコミュニティ

私たちは、私たちが生活し、働くコミュニティを支援し、これに投資しています。

Tridentは創業以来、事業を行い、従業員が生活し、働くコミュニティの支援と改善に強くコミットしてきました。特に、商業漁業や水産加工から直接的および間接的に生み出される持続可能な資源、雇用、収入へのアクセスに大きく依存しているアラスカ沿岸のコミュニティに対して、私たちは深い責任感を感じています。

事業を展開するコミュニティ



私たちの経済的インパクト

Tridentは地域経済と私たちが活動するコミュニティにおいて不可欠な役割を果たしています。アラスカ、ワシントン、ミネソタ、ジョージア、または海外での事業のいずれにおいても、私たちはプラスの影響を与え、貢献が明確で透明、かつ有意義であることを保証することを約束します。

私たちは、施設のサポートと保守、およびフリートとプラントの部品、消耗品、ギアの調達に毎年数百万ドルを投資しています。これらの投資は、地域の航空会社、貨物プロバイダー、食料品、消耗品などのサービスといった、地域および地域の支援に数百万ドルの間接的な利益をもたらします。可能な限りいつでも、私たちは地元企業と提携し、私たちが住み、働く経済への投資を行います。

アラスカに深く根ざして

Tridentはアラスカ全土の12以上の場所で事業を展開しており、州の経済エンジンの重要な部分となっています。私たちは、漁業水揚げ税の形でアラスカ州とその地域社会に年間数千万ドルを寄付しています。これらの収入は、地元の雇用、学校の予算、道路整備、地域のインフラプログラムに資金を提供するのに役立ち、多くの沿岸コミュニティの課税基準の基盤となっています。私たちは、Southwest Alaska Municipal Conference、Southeast Conference、およびAlaska Chamberを含む、州内のいくつかの地域経済開発組織のメンバーであることを誇りに思っています。

また、漁獲契約、カスタム加工の手配、地域社会の漁業への支援を通じて、Community Development Quota (CDQ)団体と提携しています。CDQプログラムは、アラスカ西部のコミュニティに広範なサポートとメリットを提供し、これらのグループと提携できることを誇りに思っています。

2023年には、CDQ事業体と提携して、さまざまなCDQプログラムを通じてコミュニティに収益をもたらすクォータを獲得する予定です。また、現地の雇用機会の拡大を目的とした人材育成やキャリア意識向上プログラムの開発にも取り組んでいます。また、CDQコミュニティでのインフラストラクチャプロジェクトや助成金の機会のサポートにも積極的に取り組んでいます。

企業責任

私たちは、私たちが事業を行い、従業員が働き、生活し、家族を育てるコミュニティに還元することが大切だと考えています。過去50年間、Tridentは慈善寄付、従業員のボランティア活動、地元組織との戦略的パートナーシップを通じて、数多くのコミュニティやコミュニティイニシアチブを支援してきたことを誇りに思っています。

還元の効果を最大化するために、私たちは時間とリソースを4つの戦略分野に注力します。



環境

プラスの影響を生み出し、地域環境への取り組みを支援する



飢餓救済

コミュニティ内の飢餓救済を提供する組織との提携



健康と福祉

メンタルヘルスと身体的健康および福祉のための教育・支援



家族と青少年

家族を支援し、若者に機会と職業教育を提供

4つの戦略
領域

地域環境への影響

従業員のボランティア活動と戦略的パートナーシップは、私たちが地域社会にプラスの環境影響を与える上で役立ちます。当社の従業員は、コミュニティのリーダーや組織と協力して、草の根の環境への取り組みを特定し、サポートしています。さらに、当社は、気候変動と闘い、健全な環境生態系を確保するために必要な科学を進歩させるために働く研究機関を擁護し、支援しています。

飢餓救済を提供するためのパートナーシップ

私たちは、健康的で栄養価の高い食品にアクセスできない人々の障壁を取り除くことに深くコミットしています。私たちは、大手シーフード会社としての独自の立場を利用して、フードバンクなどのコミュニティで飢餓救済を提供する組織と提携しています。私たちの従業員は、これらの組織の多くでボランティア活動を行い、資金を集め、彼らに代わって食料を配布しています。危機や自然災害の時期に、Tridentは現場でのフードサービスを提供する組織を支援します。

心身の健康とウェルビーイングの支援

Tridentは、心身の健康とウェルビーイングについての教育を支援し、これらの分野の研究を進めている組織と提携しています。当社の従業員はボランティア活動を行い、地域社会の健康関連活動への募金や啓蒙活動を行っています。特に従業員が生活し、働いている遠隔地の一部で、地域の診療所やサービスを支援しています。危機的状況や災害時には、現地で医療支援や保健サービスを提供する団体を支援します。

家族と青少年への投資

私たちは、学校を拠点とする、および業界が支援するスキルトレーニングを通じて、若者の技術的職業スキルの構築に投資しています。さらに、当社の従業員は、家族の絆と健全な社会的交流を促進する地元のイベントでボランティア活動を行っています。



漁業の未来を拓く徒弟制度

アラスカでは、技術トレードに熟練した人々に対する需要は、現在および予測される労働市場とは比べ物になりません。これに対応して私たちは、実地学習、メンターシップ、および技術トレーニングを通じて熟練した労働力を採用、トレーニング、維持するように設計された徒弟制度プログラムであるTridentスキルドトレードトレーニングプログラムを開始しました。

2022年、最初の試験的試みとして、4年間のプログラムに参加する4人の実習生を後援し、最初の2年間をアラスカ職業技術センターで訓練した後、Tridentで2年間技能職として働くよう進級させました。実習の終わりには、これらの人たちは、Trident全体でエンジニアリングの役割を持つ正社員として採用されるために必要な重要なスキルを習得することになります。

2023年には、農林部やアラスカ先住民のコミュニティを含む、アラスカのいくつかのコミュニティの高校生へのアウトリーチを通じて、プログラムをさらに10人の学生に拡大します。

フードバンクでサービスを受ける人々の栄養改善

アメリカ人の5人に1人は、次の食事がどこから来るのかわからないといいます。だからこそ、私たちは、フードバンクに栄養豊富なシーフードを提供することに専念する組織であるSeaShareを、誇りを持って支援しています。2022年、私たちは以下を寄付しました。

110万食の シーフード 1994年以来、

2920万食の シーフード。これは、

730万ポンドのタンパク質が豊富な食品が、全米の空腹の家庭を助けるために使われるという信じられないほどの数字です。



従業員の寄付とボランティア

私たちは長い間、Tridentの従業員が地域社会に積極的に参加することを奨励しており、最近、有給の従業員ボランティアプログラムを開始することでそのスタンスを正式なものとなりました。当社の50周年を記念して2023年初頭に創設されたこのプログラムは、従業員が選択した組織で毎年最大2日間ボランティア活動を行う機会が提供されます。私たちは従業員に、恵まれないコミュニティのニーズに対処し、通常の勤務時間を使用するために知識とスキルを使用できる機会を追求することを奨励しています。

また、従業員の慈善寄付と同等の寄付を雇用主が実施することにより、従業員の寛大さを支援しています。2022年には、給与控除を通じて9つの個別の慈善寄付キャンペーンに寄付した733人の従業員の寄付とマッチングさせました。これは、2022年に12の地元の慈善パートナーを支援した毎年恒例のホリデーシーズンの従業員と雇用主のマッチングキャンペーンに追加されたものです。



有償ボランティア

Tridentの創立50周年を記念して、当社は従業員が毎年最大2日間、希望する団体でボランティア活動を行う機会が与えられる有給ボランティアプログラムを開始しました。

私たちのお客様と消費者

私たちの革新の文化は50年間健在であり、お客様と消費者に可能な限り健康的で新鮮、かつ最高の味の製品をもたらしています。

Tridentの多様な製品ポートフォリオには、天然アラスカスケソウダラのフィッシュスティックやアラスカスケウダラバーガーからすり身やオメガが豊富な魚油まで、9つのブランドと数百の製品が含まれています。私たちは50カ国以上の35を超えるグローバル販売パートナーと消費者にサービスを提供し、R&Dチームは新鮮で健康的で持続可能な製品の作成を推進しています。

お客様の期待を超えて

私たちは、顧客満足は、高品質の製品の誠実さ、正直さ、納期厳守、価値ある価格設定、充実したサービスによって達成されると信じています。私たちはお客様との長期的な関係を大切にします。私たちは、以下を提供することにより、お客様の信頼を獲得し、競争力のあるプロファイルを維持するよう努めています。

高品質の製品

当社の垂直統合により、何百ものアプリケーションで使用される高品質の原材料や、人やペット向けの完成したパッケージ製品など、船から食卓までお届けする製品の管理を維持することができます。

持続可能な手法

私たちは、魚の利用を最大化し、無駄を避けるために努力することを含め、水揚げするすべてのものに責任を持ちます。アラスカ産の素晴らしい天然魚を加工して切り身にするだけでなく、魚のすべての部位をオイルなどの製品に使用します。

応答性の高い革新的な製品開発

私たちはお客様と緊密に協力して、消費者の嗜好の進化を理解し、対応しながら、形作ります。私たちは革新の文化の維持にコミットしています。

2 気候を
ゼロに3 すべての人に
健康と福祉を

新製品開発

Tridentでは、この世代と次の世代のために、お客様にとって価値のある高品質のシーフード製品を作ることと重点を置いています。私たちは、お客様に関する深い洞察、市場動向、社内の専門知識に基づいて製品開発を行っています。

TridentのR&Dは、3つの技術R&Dセンターの食品開発者とサポート技術者、料理専門家、認定食品科学者、加工エンジニアで構成される、米国における高付加価値R&Dチームが率いています。このチームは、新製品と技術開発、現在の製品とプロセスの改良と最適化、および市場動向と科学情報の継続的な調査を推進します。チームは、[ブランドレピュテーションコンプライアンスグローバルスタンダード \(BRCGS\)](#) として [米国食品医薬品局](#) という、社内の食品安全に関するすべての要件の下で運営されています。

私たちは、新しいアイデアを説得力のあるソリューションに効果的に商業化できるように、機敏な6Dイノベーションプロセスを運用しています。当社の革新的なソリューションのポートフォリオは、切り身/切り身部分、すり身ベースの製品、魚ベースのハンバーガー、前菜、および魚油、ペットフード、魚粉などの他の派生製品を含む幅広い製品カテゴリにまたがっています。

消費者教育

私たちは、魚は人々と地球にとってきわめて健康的な食品であると考えています。エビデンスがあるにもかかわらず、魚は依然として誤解されており、魚を食べることの利点について知らない、または確信が持てない人もいます。

私たちは、[Seafood Nutrition Partnership](#)、[National Fisheries Institute](#)、および [Global Organization for EPA and DHA Omega-3 \(GOED\)](#)、その他の卸売および小売の顧客、パートナー、および様々な協会と協力し、消費者が私たちの業界、私たちの会社、そして私たちの製品についてさらに学ぶよう支援しています。また、シーフードの豊富な食事がもたらす栄養と健康上の利点に関する消費者教育を支援し、他のシーフード生産者と協力して、連邦政府と地元の学校システムが学校給食プログラムにシーフードをよりよく組み込めるように、他の水産業者と協力しています。

革新の文化の醸成

2022年には、イノベーションと製品開発を合理化し、製品の成功率を高め、最も価値の高い市場機会にリソースを集中させ、市場投入までの時間を短縮するために、更新された一連のポートフォリオとプログラム管理のビジネスプロセスを実装しました。これらのプロセスは、ビジネス全体のすべてのイノベーションおよび製品関連イニシアチブのビジネス意思決定データの単一記録システムを提供するBrightFireアプリによって可能になります。新しい迅速なプロセスは、各イニシアチブを管理するために使用される一連のステージとゲートで構成されます。ポートフォリオレビューは、エグゼクティブスポンサーと共に、戦略の適合性、プロジェクトミックス、リソース割り当てを調整するために、定期的の実施されます。

また私たちは、従業員のエンゲージメントを高め、従業員の知見を活用するためのプログラムを開始しました。2022年後半には、革新的な製品とプロセスの改善のアイデアを募集し、世界中の従業員から140を超える応募がありました。私たちはこのプログラムを継続し、従業員の情熱と創造性を称えることを楽しみにしています。

私たちとともに働く漁業者の皆さん

私たちは、天然の持続可能なアラスカのシーフードにコミットし、それを世界と共有することにコミットしている漁業者の皆さんの家族です。

私たちのビジネスの基礎が漁業者の皆さんとの強力なパートナーシップであることは間違いありません。彼らがいたからこそ、私たちはここにいるのです。私たちの50年を通して、私たちは私たちの漁船団や独立漁業パートナーとの重要なつながりを維持してきました。企業としての私たちの成長と成功は、彼らの継続的な成功のおかげです。

Tridentは、ジェンダーインクルーシブな言葉を使うことに鋭敏な感覚を持っています。従業員との話し合いでは、男性、女性および多様な性を持つ人々を「漁師」と呼ぶことへの強い希望が表明されました。「漁師」であることは、性別に基づく用語ではなく、職業と見なされています。

「漁業者がレールを越えて魚を引き寄せるまで、Tridentでは何も起こりません。」

— Joe Bundrant
CEO (最高経営責任者), Trident Seafoods





サービスと知識の共有によるフリート体験の向上

Tridentでは、すべての従業員が共有する私たちの目標は、私たちが協力している5,400人以上の独立した漁業者と乗組員をサポートし、私たちの艦隊に感謝を示すことです。結局のところ、Tridentの漁業者が漁獲作業でより収益性が高く効率的になることを支援できれば、私たちは成功しているということです。

私たちは、陸上と水上の両方で漁業者と知識・経験を共有することにより、事業の全体的な品質を常に改善するよう努めています。将来を見据えて、私たちは漁業者たちとのつながりを強化し、協力するための新しく革新的な方法を模索することを目指しています。私たちは、漁業者のパートナーとの関係を構築するために、テクノロジーと新しい形式のコミュニケーションを模索しています。

2022年に私たちは、漁業者のサポートに焦点を当てた新しい部門であるフリートエクスペリエンスグループを設立しました。私たちのコミットメントは、Tridentの漁業者が私たちの注意を喚起したときに問題を未解決のままにしないことです。

競争力のある市場アクセス

私たちと一緒に漁業をすることを選択したフリートのために、私たちは競争の激しい市場へのアクセスを提供します。私たちは継続的に漁業者たちと協力して品質を改善し、持続可能なビジネス慣行を開発し、お客様に可能な限り最高の製品を提供し続けることを保証します。

トレーサビリティは双方向に流れると考えています。私たちの漁業者は、漁獲量が増え、最終的には品質と完全性を最優先して消費されることがわかっている市場に魚を届けることを誇りに思っています。

私たちの市場へのアクセスは、私たちの沿岸コミュニティの支援なしにはあり得ません。私たちは、フリートやコミュニティが私たちに大きな信頼を寄せていることを認識し、水揚げされた製品を市場に出し、販売するための利用可能な最良の手段を提供します。私たちは、その信頼を維持するために、人間関係やコミットメントを尊重します。



Tridentでの機会が家族の絆に

2022年5月、Trinity Jackson Sr. (トリニティ・ジャクソン・シニア)は、Tridentの漁業者ローンプログラムの支援を受けて、新しいサケ地引網船を購入しました。トリニティは、アラスカで唯一のインディアン保護区であるメトラカトラインディアンコミュニティのメンバーです。トリニティと彼の家族は、保護区の自主管理・主権漁業に参加しており、Trident Seafoodsが魚の加工と入札によってこれを支援しています。

トリニティの16歳の息子、TJが学校の就職説明会でプレゼンテーションを行う時が来たとき、彼の息子は父親が紹介したい会社がどこかを知っていました。Trident Seafoodsです。これは、トリニティの新しい船の購入により、息子が父親の古いボートを走らせ、夏の釣りシーズンにアラスカでのサケ地引網漁の経験が出来たためです。2022年後半、TJはアラスカ南東部のフリート管理チームにアプローチし、プレゼンテーションのためにTridentに助言を求めました。私たちのチームは、ただ乗船して支援していただけではなかったのです。

「大人になって、私が人生でやりたかったのは
Tridentの漁業者になることでした。さあ、
見てください。この子の夢が叶ったのです。」

TJ Jackson
Tridentの漁業者と高校生



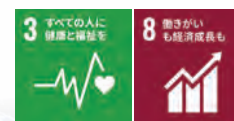
私たちの従業員

Tridentは家族経営の企業であり、私たちはお互いを家族のように扱います。

Tridentには、ユニークな財産、才能のある従業員、そして「やればできる」という精神に基づいた企業文化があります。私たちは、世界中で9,000人以上の従業員が成功の最大の理由であり、シーフード業界のリーダーになることができると信じています。幸運なことに、勤続年数が30年以上に及ぶ従業員を含む、キャリア全体を私たちと一緒に過ごす多くの従業員がいます。

私たちは、従業員が個人として、またプロフェッショナルとして成長できる職場環境の構築にしっかりとコミットしています。私たちは、仕事で学び、教え、共有する機会を作ります。私たちは積極的な貢献を求め、認識し、組織と従業員について誇りを抱いています。

他者への敬意は、私たちの行動のすべての基盤にあります。私たちは、人種、肌の色、性別、宗教、性的指向、またはその他の多様性の側面に関係なく、従業員の公平かつ公正な扱いに努めています。私たちは、情報やアイデアの自由でオープンな流れを奨励する職場文化を大切にしています。



安全文化の構築

安全性、品質、および米国労働省の労働安全衛生局（OSHA）およびその他の安全基準への準拠遵守において、Tridentでは妥協の余地はありません。2022年には、2021年と比較して全社的なインシデントを25%削減しました。当社の安全における成果は業界をリードするものですが、これで終わりではありません。インシデントをゼロにするまで、私たちに休みはありません。

私たちは、安全は全員の責任であると考えています。Tridentの施設および船舶における安全対策の例は次のとおりです。

施設

- 毎週のアペレーションコール内での各マネージャーからの安全メッセージ
- すべての施設の標準化されたロックアウト・タグアウト手順を備えたマスターロックプログラム
- 会社の標準化と緊急時対応計画の見直し
- 卓上安全訓練と演習
- 企業の安全監査と視察
- 工場全体の聴覚保護試験
- 毎週の安全管理者会議
- 安全コーディネーターのためのOSHAトレーニング
- ワシントン州エベレット、ジョージア州キャロルトン、アラスカ州コディアックの施設における、インシデントおよびヒヤリハット事案の発生分布アプリのベータテスト実施

船舶

- 800人以上の船舶要員向け年次水中サバイバルトレーニング
- サバイバルスーツの着用、救命いかだの進水、聴覚保護、基本的な消火器の使用、血液媒介病原体、落下保護に関する800人以上の船舶要員向け年次教室トレーニング
- Tridentのキャッチャープロセッサーおよびプロセッサー船での北への輸送中の対面OSHA、危険物、応急処置および消防訓練
- 全船舶の安全監査の半年ごとの実施
- 米国沿岸警備隊が要求する安全訓練を実施するためのすべての船舶への年次訪問
- 毎週のアペレーションミーティング内での各マネージャーからの安全メッセージ
- 機器トラッカーアプリの実装

2022 安全災害発生率



³ 総合事故発生率 (TCIR) は、1年間のフルタイム労働者100人あたりの労働災害の数として定義されます。

⁴ 休業、作業転換・制限を伴う傷病 (DART) 率は、フルタイムの従業員100人あたり、1日以上仕事を休む、または1日以上制限された仕事または転勤をもたらす記録を擁するインシデントの数です。



2022年には、
2021年と比較して全社的
な安全に関するインシデントを
25% 削減しました。



従業員の健康増進



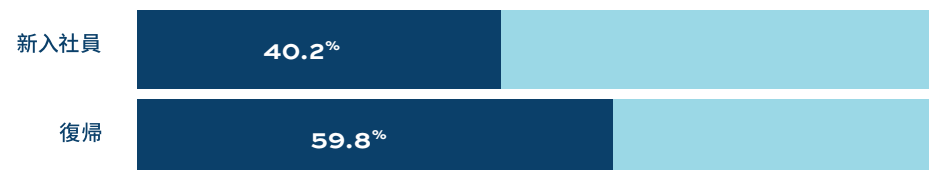
昨年は、Tridentの従業員のメンタル面でのウェルビーイングへのサポートを強化しました。たとえば、メンタルヘルスに関する理解と意識を高めるように設計されたメンタルヘルス応急処置トレーニングを提供しました。これはピアツーピアサポートの社内ネットワークを構築するのに役立つものです。現在までに、100人以上の個人が米国の各事業拠点でトレーニングを完了しています。2023年には、従業員のメンタルヘルスサポートグループのフレームワークを開発することにより、従業員サービスに追加する予定です。

私たちは、従業員と組織のニーズに合わせて進化するために、ウェルネスプログラムを継続的に評価および変更します。2023年には、より高度なウェルビーイングプラットフォームとインセンティブプログラムを開始し、アクセス、包括性、従業員のエンゲージメントを高める予定です。

従業員の公正な給与の確保

世界中のTridentのすべての事業において、私たちは最低賃金を超える賃金を支払っています。私たちが目指しているのは、エントリーレベルおよび季節労働者を含むすべての従業員に公正な生活賃金を確実に提供することです。私たちの高い季節労働力復職率は、私たちが従業員をどのように気遣っているかの証拠です。

季節従業員、復帰 (米国のみ)



多様でインクルーシブな職場づくり

Tridentには、diversity, equity and inclusion (ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン、DE&I) を重視してきた長い歴史があります。私たちのビジョンは、すべての人の帰属意識を育むインクルーシブな文化と公平な環境を作り出すことです。

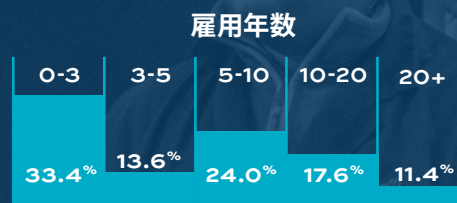
私たちは、事業を行うコミュニティを反映した労働力を引き付け、維持し、完全に活用することを目指しています。私たちは、採用、昇進、業績管理、報酬、開発に関するポリシーとプロセスを含む、当社の人材エコシステムの強化に取り組んでいます。特に、来年には、サポートポリシーとKPIを含む新しいDE&I戦略を完成させ、従業員リソースグループの設立を支援する予定です。

2022 労働力の人口統計⁵

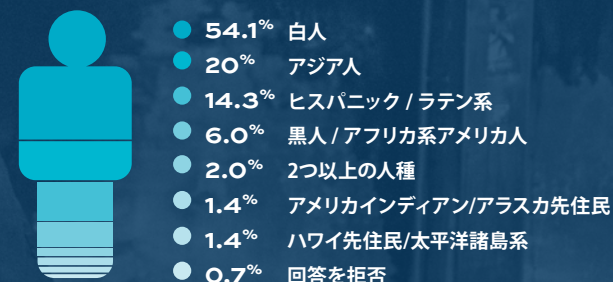
男女別常勤従業員
(グローバル)



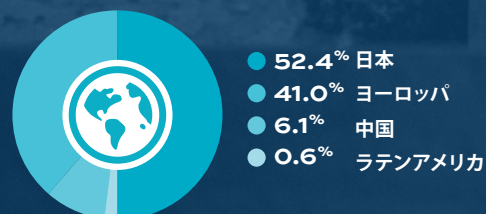
在職期間別の常勤従業員
(グローバル)



民族別常勤従業員
(米国のみ)



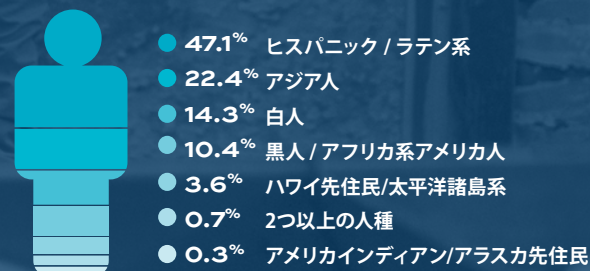
地域別の常勤従業員
(米国以外)



男女別季節従業員
(米国のみ)



民族別季節従業員
(米国のみ)



⁵ 四捨五入のため、パーセンテージの合計が100にならない場合があります。

従業員エクスペリエンスとエンゲージメントの強化

従業員の声に耳を傾け、そのフィードバックに基づいて行動することで、従業員エクスペリエンスをよりよく理解して改善し、文化を強化する機会を識別することができます。私たちは毎年、従業員エンゲージメント調査を実施し、従業員が会社で働いた経験についてどのように感じているかを測定しています。2022年のエンゲージメント調査の回答率は66%で、エンゲージメントインデックススコアは1.6%向上して合計77.5%になりました。

2022年には、従業員エクスペリエンスの向上のみに焦点を当てた新しいチームを創設しました。このチームのメンバーは、すべての従業員が採用日から退職、そしてそれ以降まで、Tridentでの最善の体験から恩恵を受けるよう保証します。以下は、従業員エクスペリエンスチームの初期の重点分野です。

- アラスカの陸上工場や船舶で働くフルタイムおよび季節労働者のための、従業員宿泊施設の改善
- 従業員の食事、トレーニング、食事体験、メニュー、会社の場所での健康食品へのアクセスの向上
- 季節労働者の従業員エクスペリエンスを再考し、すべての従業員の雇用、人員配置、コミュニケーション、オンボーディング、オリエンテーションの改善を含める
- 危機的状況や人生の大きな節目、転機において、クラス最高の従業員ケアを提供
- DE&Iと帰属意識戦略と対話の実施
- コーチング、トレーニング、評価、組織間の調整を提供して、すべての従業員のために健全な職場文化と卓越した従業員エクスペリエンスを擁護

2022年のエンゲージメント調査に参加したTridentの従業員:

86.8% が彼らのチームが質の高い仕事をすることにコミットしていると回答。

81.9% が彼らのマネージャーが従業員を尊重して扱っていると回答。

81.9% が彼らは会社の目標と目的を明確に理解していると回答。





学習と能力開発の機会の創出

私たちは、会社のあらゆるレベルの従業員にリーダーシップと従業員開発プログラムを提供しています。私たちは、従業員とそのマネージャーに、キャリアを成功させるために必要なツールとリソースを提供することにコミットしています。

Tridentの従業員は、インストラクター主導のOJTによる能力開発とトレーニング、正式な教育へのアクセスなど、さまざまな継続的学習と能力開発の機会にアクセスできます。さらに、Tridentラーニング — Chart Your Courseイニシアチブの一環として、従業員に多くのeラーニングの機会を提供しています。従業員は、将来の計画を立てながら、専門的なスキルを洗練または開発し、新しいソフトウェアについて学び、その他のキャリアを探索することができます。



Tridentの従業員の役割の複雑さと多様性を考慮し、当社の学習および能力開発チームは、すべての従業員が業務を遂行するために必要なトレーニングに加えて、専門的能力開発の機会を確実に受けられるように、複数の学習管理システムを備えています。これには以下が含まれます。

最前線人材トレーニング

私たちは、食品製造の最前線で働く従業員向けに特別に設計された国際的なクラス最高のトレーニングソリューションを採用しています。科目には、現在の適正製造基準およびOSHAに準拠した、従業員の意識レベル安全トレーニングが含まれますが、これらに限定されません。

プロフェッショナル/アドミニストレーショントレーニング

[Ceridian Dayforce](#)を活用し、従業員のエンゲージメント、エンパワメント、および能力開発を行います。このオンラインプラットフォームは、従来のeラーニング、ソーシャルラーニング、およびコンプライアンストレーニングの促進と追跡に役立つものです。さらに私たちは、法令遵守コンテンツのサードパーティベンダーである [Skillsoft](#)を使用し、必要な法令遵守トレーニングを提供しています。

LinkedInラーニング

最近当社は従業員にLinkedInラーニングハブへのオンデマンドアクセスを提供し、テクノロジー、ビジネス、ソフトウェア、クリエイティブの幅広いトピックをカバーする6,000を超えるコースのデジタルライブラリを利用できるようにしました。従業員は、ハブを介してTridentコースにアクセスすることもできます。2022年には、544人のTrident従業員がLinkedInラーニングライセンスをアクティブ化し、合計990時間の専門能力開発トレーニングを視聴しました。これは、視聴者あたり平均3時間36分に相当します。この数字は2023年になっても増え続けています。



COVID-19パンデミック時の従業員へのサポート

COVID-19のパンデミックは、世界中の人々の個人的および職業的生活を混乱させました。家族経営の会社として、私たちの最優先事項は従業員とその家族のお世話をすることであることは明らかでした。

パンデミックのピーク時に魚を加工するということは、私たちがこれまでに経験したことのない物流上およびオペレーション上の問題を提示するものでした。当社の施設の1つでCOVID-19の感染または拡散を防げなかった場合、急速な感染拡大につながり、従業員全体と周辺コミュニティの健康と安全を危険にさらす可能性があることを私たちはよく理解していました。同時に、私たちは工場の稼働を続け、国民が必要とする食料安全保障を提供し、アラスカの農村部での商業漁業活動に依存している漁業者、企業、およびコミュニティの生活を確保する必要性も認識しました。

これらの課題に対処するために、私たちは州や地方のリーダーおよび医療専門家、漁業従事者やその他の加工業者と迅速に協力し、従業員と地域社会の健康と安全を確保するための操業計画を策定しました。

アラスカでは、COVID-19チームが、検査を伴う2週間の強制的なオフサイト検疫、施設までの「安全な移動」、定期的なオンサイト検査、マスクおよびディスタンスの要件など、業界をリードするプロトコルを実装しました。私たちは、プロトコルが最新であることを確認するために、米国疾病予防管理センターと州のガイダンスを継続的にモニタリングし、現場の状況が変化したときにはそれに迅速に適応するようにしました。ドイツでは、専門医と相談してリスク評価とパンデミック対応計画が策定されました。これらのCOVID-19プロトコルにより、当社の加工施設での大規模な発生を防ぐことに成功しました。

最も極端な課題の多くはすでに過去のものとなりましたが、パンデミックの間、お互いを気遣い、お互いを安全に保つために多大な努力をしてくれた従業員に感謝したいと思います。彼らの努力のおかげで、私たちは従業員の安全と健康を維持する方法についての貴重な教訓を継承し、公衆衛生上の危機が再び発生した場合に対応できるシステムを構築することができました。





COVID-19ワクチンへのアクセスをより容易なものに

2021年にCOVID-19ワクチンが利用可能になったとき、私たちは従業員と事業を展開するコミュニティの健康と安全を保護するために、ワクチン接種率を100%にする必要性を認識しました。

地域および州の保健機関と協力して、施設で大規模な予防接種クリニックを開催し、最初の1か月で約2,000人の従業員に予防接種を行いました。また、米国本土（「lower 48」とも呼ばれる）の従業員とその家族にオンサイトのCOVID-19ワクチン接種クリニックを提供しました。合計で、9,000人以上の個人の一次ワクチン接種を支援しました。





ウクライナからの季節労働者の支援

2022年にロシアがウクライナに侵攻したとき、それはTridentにとって単なる重要な世界的出来事以上のもののように感じられました。約185人のウクライナ人従業員がアラスカの事業で働く当社では、ウクライナの採用担当者との強力な関係もあったため、個人的な思い入れもありました。

直ちに支援が必要であると考え、メンタルヘルスカウンセラーと通訳のチームを施設に招き、グループおよび個別のカウンセリングセッションを提供しました。Tridentはまた、地元の移民法律事務所と契約し、ウクライナのすべての従業員とその家族に迅速かつ包括的な移民法的サポートを提供しました。また、企業マッチングファンドによるウクライナの援助団体への従業員の寄付を支援し、数千缶のサーモンを直接ウクライナに送るなどの企業寄付を行いました。



ガバナンス



ガバナンス

正しいことを行うのは、私たちのビジネスおよび企業文化に貫かれる価値観です。

Tridentでは、責任あるガバナンスと強力な経済パフォーマンスが事業の持続可能性の基盤です。Tridentは非公開企業であるため、財務実績を開示する必要はありません。この分野における私たちの指針は次のとおりです。

戦略的リーダーシップ

当社の経営幹部チームは、取締役会の戦略的アドバイスとガイダンスを全面的に信頼しています。

倫理とコンプライアンス

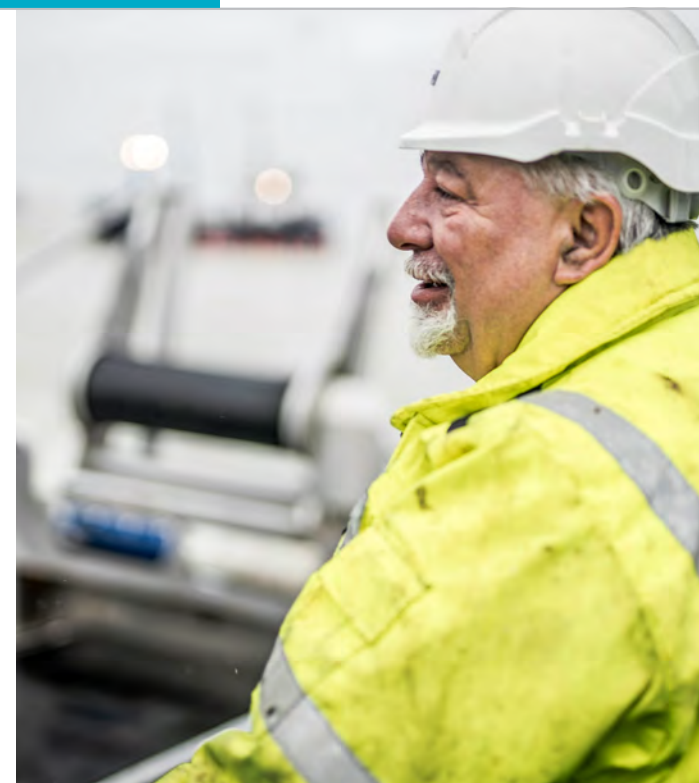
私たちは誇り高く、公正かつ誠実に競争し、いつでもどこでも法律に従い、組織とサプライチェーン全体で最高水準の誠実さを要求します。

食品の安全性と品質

私たちは、規制要件を満たす、あるいはそれを超える、業界の最高水準で生産された、安全で栄養価の高いシーフード製品をお客様に提供します。

リスクマネジメント

企業のリスク管理は、組織の回復力と戦略的成功を促進します。



私たちのリーダーシップ

私たちのリーダーは、すべての利害関係者に対して価値を創造し、環境、社会、経済の持続可能性へのコミットメントを確実に遵守します。

Tridentの取締役会

当社の取締役会は、Stein Kruseが議長を務める11人の取締役で構成されています。取締役会は、その職務の遂行を支援する5つの委員会があります。監査委員会、報酬委員会、人事および組織開発委員会、指名およびガバナンス委員会、および紛争委員会です。

役員



Joe Bundrant

TridentのCEOであり、創設者のChuck Bundrantの息子



Tom Lindquist

Plum Creek Timber社の元社長兼COO



Jim Murphy

デロイトの元マネージングパートナーであり、Tridentとバンドラント家の長年の税務顧問



Mike Quinn

マイクロソフトの元営業担当副社長



Diane Bundrant

創設者、Chuck Bundrantの妻。Tridentで30年以上にわたって不可欠な役割を果たしてきた



Leif Mannes

ベテランの漁業者であり、長年のTridentサポーター。レイフは、Arne Nessとともに、ネス家とその所有権を代表しています。



Arne Ness

ベテランの漁業者であり、長年のTridentサポーター。アルネは、Leif Mannesとともに、ネス家とその所有権を代表しています。



Steve Rummel

Lamb Weston社の元CFO、Tridentの元CFO



Stein Kruse

Holland America GroupおよびCarnival UKの元CEO、現在はCarnival Corporation & plcの会長兼CEOのシニアアドバイザー



Jim McManus

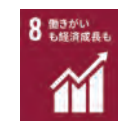
業界のベテランであり、Tridentの子会社であるRoyal Viking社の社長。



Vic Scheibert

Tridentのアラスカ事業の元社長

倫理とコンプライアンス



私たちがどのようにビジネスを行うかは、何を行うかと同様に重要なことです。

私たちは、持続可能で成功するビジネスは倫理的な行動から始まると信じています。当社の創設者は、私たちの文化に名誉と誠実さの感覚を浸透させました。私たちは、正しい方法でビジネスを行い、公正かつ誠実に競争し、あらゆる場所で法律を遵守することを引き続きコミットします。

当社の行動規範

2022年12月、私たちは、更新された企業行動規範（以下「規範」）をリリースしました。この規範は、当社の価値観を反映しており、「私たちはあらゆる場面で法律に従う」というシンプルで包括的な指令から始まります。私たちはこの規範を、Tridentの従業員向けに「倫理とコンプライアンス」のイントラネットウェブサイト上で12の言語で公開しました。

非倫理的な行動の報告

従業員は、規範、関連する会社のポリシー、または法律の違反を報告することにより、規範を維持する上で重要な役割を果たします。私たちは、潜在的な違反を報告するための複数のチャネルを提供し、これらのチャネルについて、オンボーディング資料、トレーニングセッション、ポリシードキュメント、および会社の電子メールやタウンホールで伝達しています。これらのチャネルには、独立した外部のEthicsPointウェブサイトまたはフリーダイヤルホットラインの使用、Trident法務部門への電子メールの送信、または単に上司、人事担当者、またはTridentの内部監査チームのメンバーに話すことが含まれます。法律で許可されている場合、従業員は匿名にすることができます。私たちは、誠実に報告する従業員を保護するために、厳格な報復禁止ポリシーを設けています。

責任ある倫理的な労働慣行

私たちは、すべての人が尊厳と尊敬をもって扱われることを求め、すべての行動において礼節とインクルージョンの文化を維持することを求めます。私たちは、職場環境が従業員にとって安全で健康的であり、ハラスメント、差別、いじめ、報復がないことを保証するための措置を講じます。当社の採用や昇進の決定は、職務上のスキルや経験に基づいて行われます。私たちは、すべての人に平等な機会を与える文化を推進します。従業員の給与・報酬は、適用されるすべての国および地域の賃金規則に従って支払われます。私たちは、以下の行動によって示される、責任ある倫理的な労働慣行の改善に全力で取り組みます。



- グローバル拠点すべてにおける内部監査の実施
- 従業員の健康、安全、および倫理的処遇を確保するため、第三者監査法人を通じた社会的コンプライアンスの検証
- グローバルサプライチェーンにおける倫理的で責任あるビジネス慣行の改善を推進することに専念する非営利の会員組織である、[サプライヤー倫理データ交換 \(SEDEX\)](#) への登録（米国での登録となっている）

「倫理とコンプライアンス」トレーニング

倫理とコンプライアンスへの取り組みを強化するために、私たちは、オンラインおよびインストラクター主導のトレーニングを最大限に活用しています。すべての従業員は、採用時に当社の規範やその他のトピックに関するトレーニングに参加することが求められています。また、特定の従業員に対して、以下のような特定のテーマに関する専門的なトレーニングを定期的実施しています。

- 独占禁止法と公正競争
- 利益相反
- 贈収賄・汚職防止
- 贈答品・接待
- 政府機関との取引
- 外部コミュニケーション
- ハラスメント防止
- Trident倫理的取引イニシアチブトレーニング
- 米国税関・国境警備局テロに対する税関貿易パートナーシップ
- Trident管理職および専門職従業員向けの法令遵守トレーニング

米国拠点でのトレーニング

修了した従業員の割合

	2021	2022 ⁶
利益相反	99	98
グローバル独占禁止法トレーニング	該当なし	96.11
贈収賄防止・腐敗防止	95	該当なし
ハラスメント防止トレーニング	該当なし	76

米国外、米国内でのトレーニング

修了した従業員の割合

	2021	2022 ⁶
利益相反	該当なし	100
グローバル独占禁止法トレーニング	該当なし	96
グローバル贈収賄防止・腐敗防止	99	該当なし
ハラスメント防止トレーニング	該当なし	96

⁶ トレーニング期間は、2022年1月1日から2023年2月8日までです。

当社サプライヤー行動規範

私たちが自ら漁獲しない魚種に関しては、信頼できるサプライヤーから受ける品質とサービスによって、私たちの製品の品質が左右されます。お客様はTridentに最高のものを期待しています。同様に、私たちはサプライヤーに最高のものを期待しています。私たちは、正直さ、誠実さ、透明性、および高品質な製品の納期厳守、行き届いたサービスと価値の原則に基づいた、サプライヤーとの生産的で長期的な関係を大切にしています。

Tridentのサプライヤービジネス行動規範（「サプライヤー規範」）は、当社の従業員のビジネス行動規範と密接に連携しています。サプライヤー規範は、サプライヤーが尊厳と敬意を持って人々を扱い、従業員に健康で安全な職場環境を提供しなければならないと述べています。当社の行動規範とサプライヤー規範はどちらも、強制労働、児童労働、またはあらゆる種類の人身売買を禁止しています。

私たちは、グローバル企業によって認識され、広く受け入れられているほとんどの国際標準に合わせるため、[国連グローバル・コンパクト](#)、[倫理的取引イニシアチブ](#) および [国際労働機関](#) のガイダンスを受け、サプライヤー規範と人権ポリシーを策定しました。Tridentは、Tridentと取引を行う条件として、すべてのサプライヤーが人権ポリシーとともにサプライヤー規範に従うことを署名して表明することを求めています。

サプライヤーの審査と監査

2016年、私たちは、潜在的サプライヤーを精査し、その業務を継続的に監査して、その慣行とポリシーがTridentのサプライヤー規範に準拠していることを確認するための強固なプログラムを作成しました。

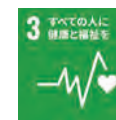
Tridentのすべてのサプライヤーは、ESGチームのメンバーと第三者の社会的責任監査人からの予備的な社会的コンプライアンス訪問を含む徹底的な審査プロセスを受けます。リスクの高い地域のサプライヤーの場合、これらの訪問は事業開始前に行われます。低リスクの地域では、これらの訪問は事業開始から1年以内に行われます。現在までに、Tridentは100カ所近いサプライヤー拠点を訪問し、審査してきました。

サプライヤーが審査された後は、訪問や第三者監査を通じてサプライヤー規範の継続的な遵守を確認しています。Tridentおよびサプライヤーの拠点に対して、定期的な内部および外部の監査が要求されます。米国の3工場を除くすべての工場は、第三者による監査を受けています。これらの3つのアラスカの（セントポール、ランゲル、ピーターズバーグ）は、たとえ営業していたとしても、季節的にごく短い期間のみに限られています。私たちは、サプライヤーがサプライヤー規範に準拠していないと判断し、その改善が遅い場合、または行われない場合に、当該関係を終了します。当サプライヤーの審査と監督に関しては、米国での活動となっています。



現在までに、Tridentは
**100カ所近いサプ
ライヤー拠**点を訪問し、審査
してきました。

食品安全および品質保証



安全性、品質、コンプライアンスについては、私たちが行うすべてのことにおいて妥協の余地はありません。

私たちは、BRCGSを使用して予定されている年次監査プログラムに参加することにより、食品の安全性、品質、コンプライアンス、および信頼性への取り組みを実証しています。BRCGSは、グローバルGlobal Food Safety Initiative (食品安全イニシアチブ, GFSI)のベンチマークを満たす包括的な第三者基準です。業界のリーダーであるTridentは、このサードパーティの監査プログラムを自主的に採用した最初のアラスカの一次加工施設の一つです。BRCGSに加えて、Tridentのエベレットとワシントン州アナコーテスの工場はそれぞれSafe Quality Food Institute to Safe Quality Food Institute (食品安全品質研究所, SQFI)とGlobal Seafood Alliance (世界水産物連盟, GSA)の監査に参加しています。どちらの監査スキームもGFSIベンチマークを取得しています。当プログラムは、米国での活動となっています。

法的要件に加えて、私たちはすべての従業員に職場での食品安全に必要な情報を提供し、従業員が関連するGFSI要件を理解して遵守し、私たちの責任に注意を払うことを保証することを約束します。



リスクマネジメント



水産資源の管理、水産物不正の防止、サイバーセキュリティに関するリスクなど、事業全体のリスク低減に取り組んでいます。

当社のEnterprise Risk Management (エンタープライズリスク管理, ERM) チームは、Tridentのトップリーダーシップと協力して、主要なリスクを特定し、適切に対応する文化を確立しています。取締役会とエグゼクティブリーダーシップチームは、リスク管理がTridentの長期的な持続可能性にとって重要であり、効果的なリスク管理は企業の回復力から始まると考えています。

リスク軽減戦略

毎年、当社のERMチームは、取締役会のメンバー、エグゼクティブリーダーシップ、その他の主要なビジネスリーダーとともに、グローバルな戦略的リスク評価を実施しています。この評価では、差し迫った潜在的な影響を伴うリスクや、戦略的に管理されない場合に長期的に発生する可能性のあるリスクなどを特定します。リスクは、可能性とその重大性に基づいてランク付けされます。結果として得られるリスクランキングにより、ERMチームの短期的および長期的重点分野の戦略的調整と優先順位付けが明確になります。

ERMチームは、指摘されたリスクを軽減するために各リスク重点領域ごとに行動計画を作成します。四半期ごとに、チームは会議を開き、合意されたマイルストーンに対する進捗状況を評価し、問題に対処します。チームは、継続的な認識と調整を確実にするために、取締役会に定期的な更新情報を提供します。

事業継続計画

私たちは、人命の安全、会社の財産・評判の保護、事業の継続にリスクをもたらすあらゆる災害に対応できる、グローバルな包括的事業継続計画に取り組んでいます。Tridentの戦略の中核となるのは、明確なサイトレベルの対応計画と、効果的な災害対応をサポートするために組織内で上下に効率的な双方向のコミュニケーションを行うためのコミュニケーションプロトコルです。

水産資源リスクの管理

Tridentは、水産資源の責任ある利用にコミットしています。北太平洋全域にわたる当社の主要な漁業は、科学的根拠に基づく意思決定、予防的管理、厳格な監視・取締り、世界レベルの研究管理プログラムを支援する漁業者や加工業者、その他利害関係者の協力など、実証済みの持続可能性の柱に基づき管理されています。私たちは責任ある管理を実践している漁業者からのみ調達を行っています。

魚種の多様化

ベーリング海のカニ漁業を開始して以来、私たちは地理的な場所と種を多様化するためにアラスカに戦略的に投資してきました。天然捕獲漁業の資源量は、海洋環境やサケの産卵場の変化によって変動し、生産性が高い年もあれば低い年もあります。アラスカの沿岸部全体と複数の種に投資することにより、Tridentは極端な保全上の制約があるときでも弾力的に対応できるようになっています。

トレーサビリティの確保と水産物偽装の防止

From the Source to the Plate®「海の恵みを食卓に」は、私たちのお客様、そして私たちの製品の最終消費者に向けた約束です。私たちは、すべての水産物について、当社のシステムを通じて製品を追跡し、漁獲原産地を確認できるということを約束します。

Tridentは、アラスカおよびアメリカ太平洋岸北西部の主要生産施設と洋上加工船に由来する水産物を使用していることで知られています。これらの施設は、当社が保有する漁船の船長や独立した漁業者によって近海の漁場で漁獲され、水揚げされた新鮮な魚介のみを加工しています。規制による漁獲量算定手段と組み合わせることで、アラスカ全域の漁業におけるTridentのプレゼンスと当社の船舶サポートチームは、漁獲地に対する卓越した監視と管理を行い、魚種の偽装やその他の不正行為を防止することができます。

アラスカと太平洋岸北西部の全入荷物の、魚種、漁獲地域、製品形態、重量などの漁獲由来情報は、州または連邦の漁業管理当局、漁船、およびTridentの工場またはキャッチャープロセッサによって管理されています。これらの漁業に従事するすべての船舶は、米国籍の船舶であり、米国の連邦および州の権限という明確な条件の下で漁業を行っています。

Tridentでは、世界中の他の生産者から水産資源を調達する場合は、魚種の識別が可能で、一次加工業者に近い、信頼できるパートナーからのみ原材料を購入しています。これらのサプライヤーには、サプライチェーンを完全に可視化するために立入検査を義務付けています。

サイバーセキュリティ

Tridentの知的財産、顧客データ、従業員データ、コンピューターシステムとネットワークを保護するために、私たちは包括的なサイバーセキュリティプログラムを実施しています。私たちは、従業員、顧客、ビジネスパートナー、およびベンダーの皆さまから委託された情報のセキュリティと機密性を保護することを約束します。

サイバーセキュリティプラットフォーム

Tridentは、ISO 27000フレームワークと連携して、セキュリティの取り組みを導き、サイバーセキュリティプログラムの成熟度を測定します。ISO 27000のフレームワークと組み合わせて、The National Institute of Standards and Technology (米国国立標準技術研究所、NIST) のサイバーセキュリティフレームワークが使用されています。NISTは、サイバーセキュリティプログラムをサポートするための追加のガイダンスを提供しています。

サイバーセキュリティのトレーニングと教育

Tridentには、サイバーセキュリティについて従業員を教育するための強固なプログラムがあります。会社のデジタルネットワークにアクセスできるすべての新入社員は、採用後60日以内にオンラインサイバーセキュリティ意識向上トレーニングコースを修了する必要があります。毎年再教育トレーニングコースを受講することが求められています。実際の状況に基づいて、複数の種類のフィッシング試行を正常に識別できるかどうかをテストする継続的なキャンペーンを通じて、従業員のフィッシングに対する意識を高めます。従業員は必要に応じて追加のトレーニングを受講します。サイバーセキュリティプログラムの成功の鍵は、主体的に行動し、警戒心を持つ従業員にあります。Tridentのメールアカウントを持っている人は誰でも不審なメールを報告できます。

脅威と脆弱性の管理

Tridentは、ネットワークとシステムの監視ツールを強化させてきました。独立した第三者機関が半年ごとに攻撃・侵入のテストを実行します。定期的に内部脆弱性スキャンを実行し、調査結果を管理して修復に対処することで、最も重要な問題を優先し、脅威を軽減します。

インシデント対応業務

サイバーセキュリティの脅威に関する情報収集および対応チームを持っており、脅威情報を監視し、進行する脅威と既知の侵害の兆候を確実に認識することに努めています。Tridentは、24時間365日の監視やインシデント対応などの侵入検知・対応に、マネージドセキュリティサービスを使用しています。



A full-page background image showing a worker in a yellow protective suit and orange helmet, working in a dark, industrial setting. A large, dark metal chain is in the foreground, partially obscuring the view. The worker is holding a long, thin rod or pipe. The floor is covered with a dense layer of blue and brown debris. The overall atmosphere is dark and industrial.

付録

環境、ソーシャル、ガバナンスへの取り組みと行動

以下の表は、このレポートに示されているTrident Seafoodsの環境、ソーシャル、ガバナンス (ESG) への取り組みと行動の概要を示しています。





環境

原則	コミットメント	アクション
科学的根拠に基づく資源管理	科学的根拠に基づく海洋生態系の保全・管理の維持・拡大	- 北太平洋漁業管理評議会、太平洋漁業管理評議会、アラスカ州魚類鳥獣部の意思決定プロセスをサポートするために必要な連邦および州のデータ収集および分析機能改善を提言する - ベーリング海漁業研究財団、スケトウダラ保全協力研究センターに資金提供を行う - コミュニティへの影響についての理解深化、アラスカの長期的な適応ニーズをサポートするためのリソースを提言する
	目的魚種別漁獲量の利用と質の向上、生息地と混獲の影響の最小化、アラスカの漁業基準の世界的な維持	- 動的経営手法を継続的に活用・洗練し、他社・利害関係者とのコラボレーションを行う - 混獲と生息地への影響を減らすための漁具技術の設計、開発、テスト、展開を行う - 水産、水生科学、大学研究所（FAST）などの独立した応用研究を支援する - 完全利用率を追求する。収穫された魚のポンドあたりの価値を最大化する
加工オペレーションの卓越性	加工オペレーションをクラス最高の水準に近代化	- 現在アラスカ州アクタンにある一次加工工場の再建計画の設計、評価、決定 - 従業員にインセンティブを与え、廃棄物管理とエネルギー効率のための新しい技術とプロセスに投資する
	すべての加工作業における環境への影響の体系的な管理および削減、廃棄物のゼロ化	2023年に環境マネジメントシステムを完全実装する - エネルギー、水、固形廃棄物管理のベースラインパフォーマンスデータを確立する - 環境パフォーマンス目標を策定する
サプライチェーンの最適化	パートナーやベンダーとのコラボレーションによる、サプライチェーンにおける環境への影響低減	- アラスカおよび世界中から出荷されるコンテナ数を低減する - 外部配送業者との環境目標を整合させる
	2025年までにリサイクル不可能な材料を可能な限り排除	- サプライヤーによる梱包材のリサイクル状況の監査を行う - 管理および追跡システムの実装により、リデュース（低減）、リユース（再利用）、リサイクル（再生）イニシアチブを支援する
革新的かつ協働的なポリシー	水産科学と規制政策改善におけるコラボレーション	- 米国海洋大気庁アラスカ水産科学センターのトロール調査、およびアラスカ州魚類鳥獣部のデータ収集と分析のために、完全かつ拡大された資金提供を提言する - 新しい規制措置のテストと開発におけるコラボレーション
	気候変動に強い食料生産を改善するための連邦政策の策定におけるコラボレーション	連邦政府の政策立案者やその他の利害関係者を、米国の水産物生産の将来についての議論や、米国の水産物生産を強化するための既存の政策ツールの開発または使用に関与させる



ソーシャル

原則	コミットメント	アクション
コミュニティへの支援	Tridentが事業を展開する地域社会への経済的貢献の維持	アラスカ州の農村部の加工工場への再投資による、長期的な経済活力の確保
	西アラスカコミュニティ開発クォータ（CDQ）プログラムのグループと提携して、長期的な成功を確実にする	- CDQ 事業体と提携し、地域社会に収益を還元できるクォータの漁獲を行う - 地域の雇用機会を増やすことを目的とした職能開発およびキャリア啓発プログラムを開発する
	地域経済計画とコミュニティ開発の取り組みへの参加	Southwest Alaska Municipal Conference、Southeast Conference、Alaska Chamber、およびその他地域での取り組み積極的に関与する
	従業員が地域社会のニーズに応えるためのエンパワメント	2023年にTrident社全体で有給の従業員ボランティア活動プログラムを実施する
お客様と消費者とのエンゲージメント	新製品開発におけるお客様とのコラボレーション	シアトルのTridentイノベーションセンターの食品科学者とシェフが、製品の研究開発においてお客様とのコラボレーションを行う
	シーフードの健康上の利点に対する消費者の意識向上	シーフード栄養パートナーシップおよび米国の食事ガイドラインとシーフード消費の健康上の利点について一般の人々を教育できるその他の利害関係者を支援する
漁業者の支援	問題を未解決のままにしない	フリートエクスペリエンスグループを展開して、問題を継続的に解決する
	競争力のある市場アクセスの提供	1,350隻以上の独立した漁船の支援を通じて、5,400人以上の独立した漁業者と乗組員を支援する
従業員を大切に する	安全災害ゼロ	安全監査、トレーニング、継続的な改善戦略を使用して、業界をリードする安全指標を維持する
	ホリスティックウェルビーイングのライフスタイルの支援	ウェルネスプログラムイニシアチブへのアクセス、包括性、および使用を増やす。インセンティブプログラムを使用して予防ケアの利用を増やす
	Tridentが事業を展開する地域社会を反映した労働力の雇用、維持、および十分な活用	ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン戦略を策定し、ポリシーと主要業績評価指標を確立する
	従業員への最適な職場体験の提供	従業員サービスを改善するための新しい機能を展開する。従業員リソース グループを確立する
	個人的および専門的な成長の機会を提供する	インストラクター主導のオンライン学習、実地開発とトレーニング、正式な教育へのアクセスを提供する
	健康的で柔軟な職場環境の整備と継続的な改善	- 新しい従業員エクスペリエンスチームを導入して、アラスカの遠隔地の住宅とサービスを強化する - 従業員の心身の健康と福祉への継続的なトレーニングと投資を行う



ガバナンス

原則	コミットメント	アクション
倫理とコンプライアンス	全従業員による当社の行動規範の理解と遵守	更新された企業行動規範を開発し、グローバルに配布する
	倫理とコンプライアンスの継続的なコミュニケーションと強化	必須の企業全体の倫理とコンプライアンストレーニング要件を従業員が100%遵守するようにする
	Tridentと取引を行うすべてのサプライヤーの、当社のサプライヤービジネス行動規範（「サプライヤーコード」）の理解と遵守	サプライヤー規範を開発し、グローバルに配布する。直接および外部監査人によりコンプライアンスと社会的責任を確保する
食品安全および品質保証	すべての従業員による、職場における食品安全の重要性理解、関連するグローバル食品安全イニシアチブの要件の遵守	- 定期的な従業員トレーニングを実施する - ブランドレピュテーションコンプライアンスグローバルスタンダードを使用した監査プログラムに参加する - 一部の工場は、セーフクオリティ食品研究所およびグローバルシーフードアライアンスの監査にも参加している
リスクマネジメント	上級管理職による、戦略的および運用上のリスクの体系的評価および軽減	すべての漁獲地がアラスカの責任ある漁業管理、海洋管理協議会、および最良の養殖慣行または養殖管理協議会の認証要件に準拠していることを確認する
	責任を持って管理された漁業からのみからの調達	- サプライヤーによる梱包材のリサイクル状況の監査を行う - 管理および追跡システムの実装により、リデュース（低減）、リユース（再利用）、リサイクル（再生）イニシアチブを支援する
	すべての知的財産、顧客データ、従業員データ、コンピュータシステムとネットワークを保護	サイバーセキュリティのクラス最高の基準を維持し、サイバーセキュリティの脅威の軽減について従業員を継続的に教育する



「私たちは長期的視点に立っています。私たちは、漁業者、従業員、そしてコミュニティを次世代にわたって維持する海洋資源を維持することに全力を尽くします。」

Joe Bundrant
最高経営責任者、Trident Seafoods



5303 SHILSHOLE AVENUE NW | SEATTLE, WA 98107 USA | 206-783-3818

WWW.TRIDENTSEAFOODS.COM